

御殿場の教育

令和5年度



御殿場市教育委員会

御殿場市民憲章

昭和五十五年六月十三日制定

わたくしたちは、朝に夕に麗峰富士を仰ぐ御殿場市民であることに誇りを持ち、
かおり高い文化都市への発展をめざして
この憲章を定めます。

- 一 わたくしたちは、郷土を愛し、
さわやかな緑のまちをつくります。
- 一 わたくしたちは、進んできまりを守り、
安全で住みよいまちをつくります。
- 一 わたくしたちは、教養をたかめ、
文化のあふれるまちをつくります。
- 一 わたくしたちは、たがいに助け合い、
明るいまちをつくります。
- 一 わたくしたちは、心身をきたえ仕事に
はげみ、豊かなまちをつくります。



御殿場市の紋章

昭和32年制定

GOTEMBAの頭文字Gを図案化。
中央に富士山を、外枠に箱根外輪山を表現し
美しい視線に囲まれた御殿場の伸びゆく
市勢と市民の協和を表現しています。

目次

○御殿場市の概要

1 御殿場市の沿革.....	1
2 御殿場市域と人口・世帯数	6

○教育委員会

1 委員.....	7
2 歴代教育委員	8
3 歴代教育委員長	9
4 歴代教育長.....	9
5 令和4年度教育委員会会議	10
6 教育委員会機構及び事務分掌	12

○教育行財政

1 御殿場市教育大綱(概略版)	14
2 令和5年度御殿場市教育施策	16
3 令和5年度御殿場市一般会計予算	21
4 令和5年度教育費予算	22
5 教育費の推移.....	23
6 児童・生徒一人当たりの教育費	23

○学校教育

1 学校教育	
① 令和5年度御殿場市教育委員会学校教育課教育構想	24
② 御殿場市教育委員会学校教育課ランドデザイン.....	26
③ 令和5年度 事業一覧表	27
④ 学校・園一覧(令和5年5月1日現在)	
【幼稚園】.....	29
【小学校】.....	35
【中学校】.....	45
⑤ 児童・生徒・園児数の推移	51
⑥ 中学校卒業者の進路状況.....	53

⑦ 日本スポーツ振興センター	54
⑧ 育英奨学金	55
⑨ 就学援助及び特別支援教育就学奨励費	55
⑩ 小・中学校の入学状況	56
⑪ 施設の整備状況	57
2 所管外学校等	59

○学校給食

1 学校給食

① 主要事業	60
② 学校給食配食校変遷一覧表	61
③ 施設の概要	62
④ 学校給食の実施状況	65
⑤ 児童・生徒一人当たり栄養摂取状況	66

○社会教育

1 社会教育

① 主要事業	67
② 令和5年度事業一覧表	69
③ 指定・登録文化財	77

2 図書館

① 主要事業	79
② 令和5年度事業一覧表	80
③ 施設の概要	82
④ 所蔵資料	83
⑤ 令和4年度の利用状況	84

○資料

1 事業年譜	87
2 各種委員名簿	90
3 教育施設位置図	99
4 防災計画	100

御殿場市の概要

1 御殿場市の沿革

・はじめに

御殿場市は静岡県の北東部にあって、我が国の最高峰である富士山の東麓に位置し、美しい自然に恵まれた緑豊かな高原の都市である。かつては東海道本線として日本の近代化を担った JR 御殿場線、東京と沼津を結ぶ国道 246 号が市内を縦断し、小田原と富士吉田を結ぶ国道 138 号が市内を横断している。これら陸上交通は御殿場インターチェンジを介して市内を縦断する日本経済の大動脈「東名高速道路」と結ばれていることから、御殿場市は太平洋ベルトの東西の交通路と甲信地方との南北の交通路が合流する陸上交通の要衝となっている。

東名高速道路により東京と約 1 時間で結ばれ、

都心との間に高速バスや JR・小田急線の特急が運行されていることから、市民には進学や就職、買い物など多くの点に首都圏への強い志向が見られる。

平成 24 (2012) 年に新東名高速道路が御殿場 JCT から浜松いなさ JCT まで開通し、さらに令和 3 (2021) 年には、新御殿場 IC も開通したことにより、本市の新たな玄関口として、首都圏のみならず中京圏からの観光客が富士山や箱根といった周辺地域へ足をのばす際の中継地、あるいは周辺地域を訪問した後に御殿場市を經由するため、国内外の観光客の増加へつながっている。

・御殿場の自然

御殿場市は海から内陸へ約 30km の距離に位置し富士山、箱根外輪山、さらには愛鷹山、丹沢山地と三方を山に囲まれた市中心部で標高約 450m の高冷地であり、県内では珍しい高原都市である。

富士山・愛鷹山と箱根外輪山の間は南の駿河湾の方向へ向けて開けた地形のため湿気を含んだ南風が入りやすく、また、富士山は標高 3,776m の独立峰が駿河湾から直接そびえ立つような地形であることから周辺は気流の変化が激しい。このような理由から富士山東麓は雲や霧が発生しやすく、年間降水量は 2,500 ミリ前後、多い年には 3,000 ミリを超える多雨で多湿な地域となっている。冬季は高冷地のため最低気温が氷点下となることが多く、太平洋側の典型的な気候のため乾燥し降水量は少ないが、冬型の気圧配置が崩れると積雪が見られる。

市内の河川は、富士山と箱根外輪山からの湧

水を水源とし、鮎沢川に代表される相模湾へ注ぐ酒匂川水系と黄瀬川に代表される駿河湾へ注ぐ狩野川水系に分かれる。両水系の分水界は概ね富士山頂と箱根外輪山の丸岳を結ぶ線である。

富士山周辺は地質学的には南部フォッサマグナ地域に当たり、ユーラシアプレート・北米・フィリピン海プレートの会合部に位置する。数十万年前には箱根火山・愛鷹火山・先小御岳(せんこみたけ)火山が活動を開始し、箱根火山はカルデラと外輪山を形成しながら現在も活動を続け、愛鷹火山は約 10 万年前までに活動を終えている。先小御岳火山とは現在、富士山がある場所に最初に出現した火山であり年代は判然としないがこの火山に重なるように小御岳火山が出現し、さらに古富士火山、新富士火山と順に重なるように火山が出現し現在に至っている。

この地域の現在の地形を形成する直接的な要因は、約 1 万 7 千年前から始まる新富士火山の

活動である。国指定天然記念物駒門風穴や黄瀬川の河床に見られる溶岩は新富士溶岩流と呼ばれる約 1 万年前に噴出した溶岩流である。また、富士山の山体崩壊により約 2,900 年前に発生した御殿場岩屑(がんせつ)なだれは市内の広い範囲に堆積し、末端は足柄平野や駿河湾沿岸部ま

で達した。御殿場岩屑なだれは、流れ下りながら市内各所に流れ山と呼ばれる塚を形成する一方、岩屑なだれで荒廃した山麓でたびたび泥流が発生し、泥流の堆積層が水の浸透を妨げることから御殿場インターチェンジ周辺には広大な沼地が形成された。

・原始から古代へ(御殿場のあけぼの)

御殿場市内において、現段階では旧石器時代の遺跡は発見されていない。現段階で最も古い遺跡は箱根外輪山の中腹で発見された縄文時代早期(6~7 千年前)の山の神遺跡である。縄文時代は気候が比較的温暖で富士山の火山活動も比較的穏やかであったらしく、広く関東一円に富士山から噴出した火山灰が風化した富士黒土層が形成された。その後、縄文時代晩期頃には富士山は火山活動が活発化し盛んにスコリアを噴出したり山体崩壊や岩屑なだれも発生したりしたため、この地域は一時的に人々が定住するのは困難な環境となったと思われる。

弥生時代に入ると再び人間の痕跡が見られるようになるが、遺跡の発見例が少なく他地方のように水田稲作が営まれていたことを示す遺跡は今のところ発見されていない。古墳時代になると先に述べた沼地の周辺に集落が形成されるようになり、この頃の代表的な遺跡として御殿場駅の東方に広がる集落遺跡の中田遺跡、古墳として大沢原古

墳群がある。

8 世紀以降、律令制度による中央集権体制が確立すると都と地方を結ぶ官道が整備されていた。この地域は、都と相模国以東の諸国及び甲斐国を結ぶ古代東海道の要衝であったため、駿河国で最も大きな駅、横走(よこばしり)駅がおかれた。この頃の代表的な遺跡として南中学校周辺の永原追分遺跡がある。

平安時代は、有史時代に入って富士山の火山活動が活発であった時期であり、小規模な噴火の記録もあるが大きなものでは延暦 19(800)年、貞観 6(864)年、永保 3(1083)年の 3 回の噴火記録が残っている。

11 世紀頃から、この地域は大沼藍沢御厨(みくりや)という伊勢神宮の荘園となる。御厨という非行政広域地域名の起源はここにある。この御厨を掌握していたのは、後に東国の動乱に介入して西相模へ進出し勢力拡大を図った大森氏である。

・鎌倉時代から戦国時代へ(中世の御殿場)

鎌倉幕府成立後、建久 4(1193)年には、富士山麓を舞台に將軍源頼朝による富士の巻狩が行われ、市内にはこの巻狩に因んだ多くの伝説や地名が残っている。

承久 3(1221)年の承久の乱では、幕府軍が勝利し討幕計画に参画した貴族は捕えられ鎌倉へ護送されることとなったが、この地域にさしかかると藤原光親が籠坂峠で、藤原宗行が藍沢原で処刑されてしまったという悲話が伝えられている。

時は過ぎ鎌倉幕府が倒れ、後醍醐天皇が「建

武の新政」を始めるが 2 年余りで瓦解する。中先代の乱鎮圧のため鎌倉に入り乱を平定した足利尊氏が東国を拠点に新政府へ反旗をひるがえすと、後醍醐天皇は新田義貞を総大将とした官軍を東進させた。両軍はこの地域で衝突し、竹之下(小山町)で官軍を撃ち破った足利尊氏は官軍を追ってこの地域を南下し、最終的には三島の新田義貞の本営を攻め、官軍を総崩れに追い込んだ。永原には、竹之下の戦いに敗れて退却する官軍と後を追う足利尊氏の軍勢が戦ったという永原古戦

場の言い伝えがある。

室町幕府が成立すると、駿河国は守護大名の今川氏の領国となり、この地域は今川氏の被官である大森氏が支配していた。大森氏に関しては、大森頼春(道光)が応永 29(1422)年に寄進した石灯籠(市指定文化財)が二岡神社境内に残っている。

大森氏は頼春の時代に東国支配の拠点「鎌倉府」の内紛である上杉禅秀の乱に介入して西相模へ進出し、小田原を本拠地に東へ勢力拡大を図ったため、この地域は大森氏に代わり同族の葛山(かずらやま)氏の支配地となった。

戦国大名として有名な北条早雲は、今川家継嗣問題の内紛に介入して勢力を拡大し後北条氏の基礎を築いた人物である。この内紛は、文明7(1475)年に遠江国の横地氏・勝間田氏を攻めた今川義忠が帰路、残党に討たれてしまったことに起因する。印野の勝間田氏は、勝間田城を有した遠江国の国人領主「勝間田氏」の子孫と言わ

れ、今川義忠に敗れて富士山麓へ落ち延びたと伝えられている。北条早雲は 15 世紀末に伊豆一国を平定し、さらに小田原城を攻略して大森氏を滅亡させ、2代氏綱以降、後北条氏は小田原城を拠点に関東一円に勢力を伸ばしていった。

この地域は駿河・甲斐・相模の境界地帯であると共に交通の要衝であったことから、しばしば戦国大名が衝突し幾多の戦いに巻き込まれた。旧東海道(足柄街道)に面する深沢城跡は、永禄 12(1569)年に後北条氏の支城となり以後天正 8(1580)年にかけて武田氏と後北条氏が争奪戦を繰り返した城である。籠城する後北条氏に対して包囲する武田方が開城を迫った矢文が有名であり、丸馬出(まるうまだし)と三日月堀を備えるなど武田氏が領有した時期の武田流築城術が色濃く残る城跡として県指定史跡となっている。近年は、武田氏滅亡後に城を守備した徳川方の大改修があったとする見解もある。

・江戸時代(近世の御殿場)

関ヶ原の合戦に勝利した徳川家康は征夷大將軍となり江戸幕府を開いた。沼津代官は元和 2(1616)年にこの地域の土豪「芹澤将監(しょうげん)」に対し家康が使う御殿の造営及びその周辺に新町を建設することを命じたといわれている。家康が実際に御殿を使用することはなかったが、御殿を中心に御殿新町が生まれた。今日の「御殿場」という地名はこの「御殿」に由来している。

寛永 10(1633)年にこの地域は稲葉氏が支配する小田原藩領に組み込まれ、以後、宝永噴火により幕領化された時期を除いて慶応 4(1868)年の静岡藩引き渡しまで小田原藩領となる。江戸時代に入って 100 年も経つと、江戸の商人が技術力と経済力を身に付け、この地域でも町人請負新田が開かれたが、標高が高く痩せた土壌で、水が乏しい或いは恵まれていても湧水や溪流の水をそのまま使う冷水掛りであったことから、水稻の生産効率は高くはなかった。そのため、当時の人々は水稻耕作や畑作以外に山野へ入り稈(まぐさ)を採取して馬を養い駄賃を稼いだり、薪炭を生産し

て小田原城下へ運んで現金化したりするなどの農間余業で、農業生産力の低さを補填していた。

そのような脆弱な村々を襲ったのが、宝永 4(1707)年の富士山宝永噴火である。膨大な火山噴出物は、この地域の田畑を埋め山野を覆い尽くした。領主の大久保氏は被災した領地の自力復興を断念して上知し、被災地は幕領として関東郡代伊奈半左衛門忠順(ただのぶ)が復興に着手した。伊奈半左衛門の主たる任務は、小田原藩が長年をかけて開発した穀倉地帯であり、東海道の通過点でもある足柄平野を復興させるための酒匂川普請であった。そのため、この地域の砂除川浚(すなよけかわざらい)が公儀御普請で行われることはなく、自力復興に委ねられていた。その後、火山噴出物の堆積が浅い村から順次私領へ戻され、延享 4(1747)年までに御殿場市内の村々は小田原藩領へ戻った。

被災から 80 年も経つと御厨地方も足柄平野も一定の復興を見せるが、被災以前の状態に戻ることはなかった。時代は天明を迎え地震、飢饉など全

国的に自然災害が頻発し社会不安が広がっていた。この地域の村々は、宝永噴火の後遺症を引きずり困窮を極めていた。天明 3(1783)年は、前年からの天候不順続きでこの地域は大飢饉に襲われ、11月に約 30 か村の農民は年貢減免を願い大挙して小田原へ繰り出した。これが御厨一揆であるが、指導者の死罪など厳しい処置がとられたにも関わらず年貢は思ったほど軽減されず、農民は失望した。

この時代に生まれ、混乱が続く天保年間に小田原藩領や広く関東周辺に報徳仕法を広め農村復興に努め成果を挙げていたのが、「二宮金次郎」の名で有名な二宮尊徳である。この地域でも、

人々は村の立て直しや困窮した家の再興のため報徳仕法に取り組んだ。しかし、報徳仕法については元々藩内でも反対派が少ないとはいえ、推進していた藩主大久保忠真の死により藩の方針は報徳仕法の中止に一気に傾き、弘化 3(1846)年に報徳仕法は中止となった。

幕末になると、江戸-京都間の人馬の往来が頻繁となり、年貢に加え助郷役(すけごうやく)の負担もますます増大した。慶応 4(1868)年に討幕軍が江戸城に入り明治新政府が樹立されると、当地は小田原藩の支配下を離れ徳川家達が藩主である静岡藩に編入された。

・明治から昭和へ(近代の御殿場)

明治 4(1871)年廃藩置県が実施されると、静岡藩は静岡県となった。明治 12(1879)年には沼津に郡役所が置かれ郡制が敷かれ、新しい時代の波は御殿場村にもガス燈を灯らせることになった。また、伴野佐吉らの努力より明治 16(1883)年に富士山東表口登山道が開かれ、その後の別荘地化と相まってこの地域は観光地として大いに宣伝されるようになった。

明治 22(1889)年は画期的な年であった。2月 1 日に東海道本線が開通し、御殿場停車場(御殿場駅)が設置された。4 月には御厨町、富士岡村、原里村、印野村、玉穂村、高根村が発足した。一方、農作業の改良が図られ、養蚕や竹行李作りにも積極的に取り組み、小規模ながら萩原・保土沢・神場などに製糸場が作られた。明治 31(1898)年には新橋-須走間に御殿場馬車鉄道が走り、大量の物資が運ばれ、特に夏期には登山客でにぎわった。この頃になると、かつて藩の方針により姿を消した報徳仕法が各村で「報徳社設立」という形で再興された。

大野原は、この地域の人々にとって豊富な植物資源を得るための入会地である一方、緩傾斜地

が広がり小高い丘が点在する地形から、近代に入ると陸軍の砲兵隊が実弾射撃の適地として実戦訓練の演習に使用するようになった。本格的な使用は、日清戦争後の明治 29(1896)年の東京湾要塞砲兵隊の実弾演習に始まり、明治 42(1909)年には大野原を陸軍の演習場として使用することについて協定が結ばれ、同時に滝ヶ原・板妻に廠舎が作られた。軍拡を進める当時の事情から、早くも翌年には演習場拡張のため印野村内の 3 集落接收の計画が持ち上がった。地元と陸軍省の交渉は約 7ヶ月にも及び、最終的に印野村内の北畑集落を原里村川島田へ集落のまとまりをもって移転することで妥結したのは明治 45(1912)年であった。これ以後、この地域は演習場を中心に日本陸軍との関係を深めることとなった。

大正 2(1913)年原里村印野村組合が解散し、翌 3(1914)年には御厨町が御殿場町と改称する。その後、大正 12(1923)年の関東大震災、昭和 5(1930)年からの大恐慌、第二次世界大戦とこの地域の人々は苦難の時代を経験することとなった。

・戦後(御殿場市の誕生)

昭和 20(1945)年 8 月に第二次世界大戦が終戦を迎えると、GHQ の占領下で武装解除と軍事施設の接收が行われ、新憲法制定をはじめ様々な民主化政策が実施された。教育では昭和 22(1947)年の六三制教育発足により新制中学校が誕生し、昭和 27(1952)年にはこの地域の町村にも教育委員会が設置されたが、その一方で、米軍が旧陸軍施設を接收して駐留し、以降の風紀・治安の問題が深刻な社会問題となり教育にも暗い影を落としていた。

昭和 28(1953)年 9 月「町村合併促進法」が制定され、御殿場町・富士岡村・原里村・玉穂村及び印野村が合併し、昭和 30 年 2 月 11 日、人口約 36,000 人の御殿場市が誕生した。翌 31(1956)年 1 月 1 日に、高根村が村をあげての希望により編入され、さらに昭和 32(1957)年 9 月 1 日、小山町の古沢地区が編入され現在に至っている。

GHQ に接收されていた旧陸軍の演習場は、昭和 32(1957)年に米軍が一部を残して引き揚げたことから、昭和 34(1959)年に地元関係者との間で「東富士演習場使用協定」が結ばれ、翌年旧陸軍の三廠舎には陸上自衛隊が常駐すると共に、演習場は自衛隊と米軍によって使用されることになった。同時に、周辺住民の生活安定と福祉向上のために、国から生活環境改善のため助成が行われるようになった。

市制発足後の発展は著しく、昭和 40 年代の高度経済成長と特に昭和 44(1969)年の東名高速道路の開通により、市の様相が一変した。わずかな地場産業と農業・観光が主であった本市に、年々各種中小企業が進出し、さらに昭和 59(1984)年には駒門工業専用地域に 10 社余の大企業が誘致され、また平成 14(2002)年には神場南工業団地も完成し、数十社の企業が誘致され首都圏を取り巻く工業地域としての発展が著しい。

また、恵まれた自然環境のもとに都市開発が進

められ、土地区画整理事業も昭和 59(1984)年に二の岡地区、続いて平成 6(1994)年に東田中・鮎沢地区が完成し、また昭和 62(1987)年から駅前再開発事業も進められ新たな駅舎が誕生した。平成 13(2001)年からは、御殿場駅富士山口広場の整備に着手した。公園整備も盛んに進められ、平成 15(2003)年 4 月には秩父宮記念公園、永原公園、神場南公園を開園した。こうした開発に伴い人口も次第に増加し、平成 21(2009)年 4 月には 90,000 人余を擁するに至った。

平成 23(2011)年 4 月に御殿場市富士山交流センター、通称名「富士山樹空の森」を開園した。この施設は、富士山情報の発信や地域交流スペース等地域活性の場を設ける形の新たな観光公園施設で、小・中学生の富士山学習の場としても利用している。

御殿場市は富士山の麓にあって、美しい景観をはじめ、富士山から多くの恵みを受け、御殿場市民の生活・文化と密接に関わっている。富士山御殿場口は他の登山道に比べ、自動車に登ることのできる五合目の位置が低いため、砂走りを楽しむ下山道として多くの登山者に利用されている。

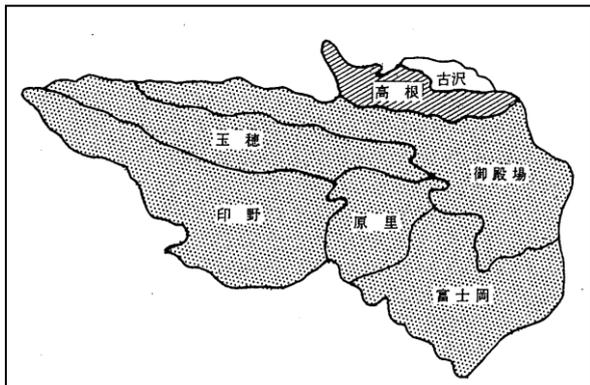
市民に愛される富士山は平成 25(2013)年 6 月 22 日、第 37 回ユネスコ世界遺産委員会において世界文化遺産への登録が決定した。

平成 27(2015)年には市制 60 周年を迎え、各記念事業が行われた。その中で、御殿場市から見る富士山の魅力を内外に発信するために富士山眺望遺産 5 か所を認定した。

そして、令和 3(2021)年に開催された東京 2020 オリンピック・パラリンピックにおいて、自転車競技ロードレースでは、本市の公道がレースコースとなり、御殿場市の魅力を世界に発信する機会を得た。

このように、富士山と共生しながら「真の子育て支援日本一のまち」を目指し、日々進んでいる。

2 御殿場市域と人口・世帯数



昭和 30 年 2 月 11 日

御殿場町・富士岡村・玉穂村・印野村
を廃し市制を施行

昭和 31 年 1 月 1 日

駿東郡高根村を編入

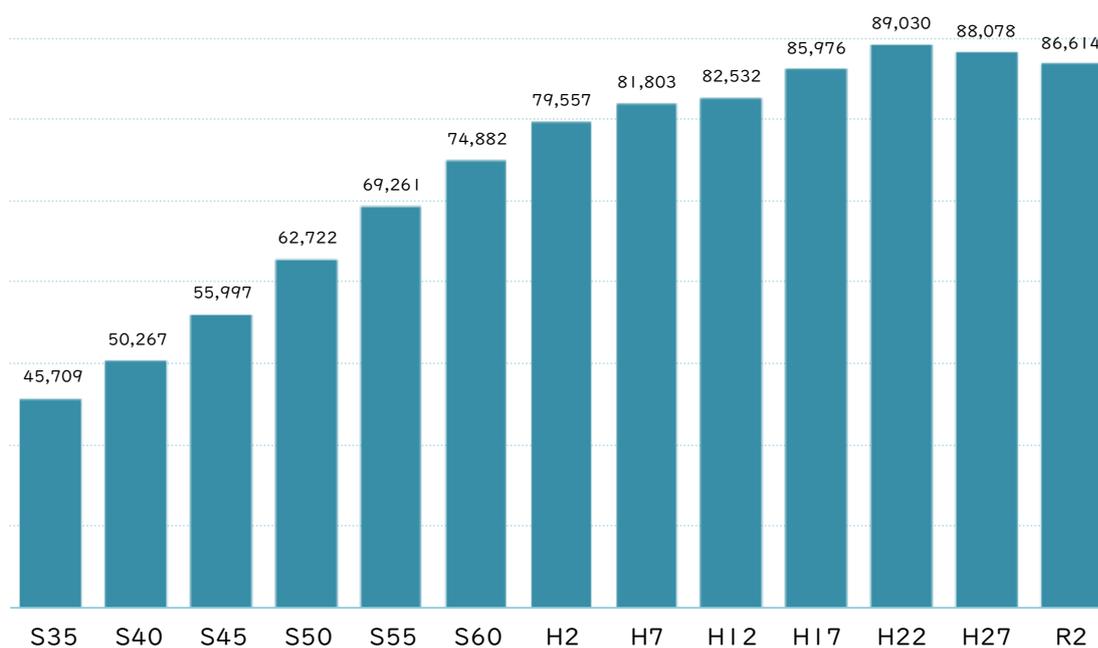
昭和 32 年 9 月 1 日

駿東郡小山町大字古沢を編入

令和5年3月31日現在(外国人登録者を含む)

人口	世帯数	面積	広ぼう	位置(市庁舎)
84,525 人	37,544 世帯	194.90 km ²	東西 24 km 南北 16 km	東経 138°56'06" 北緯 35°18'31" 海拔 459.8m

国勢調査人口の推移



教育委員会

1 委員

(組織)

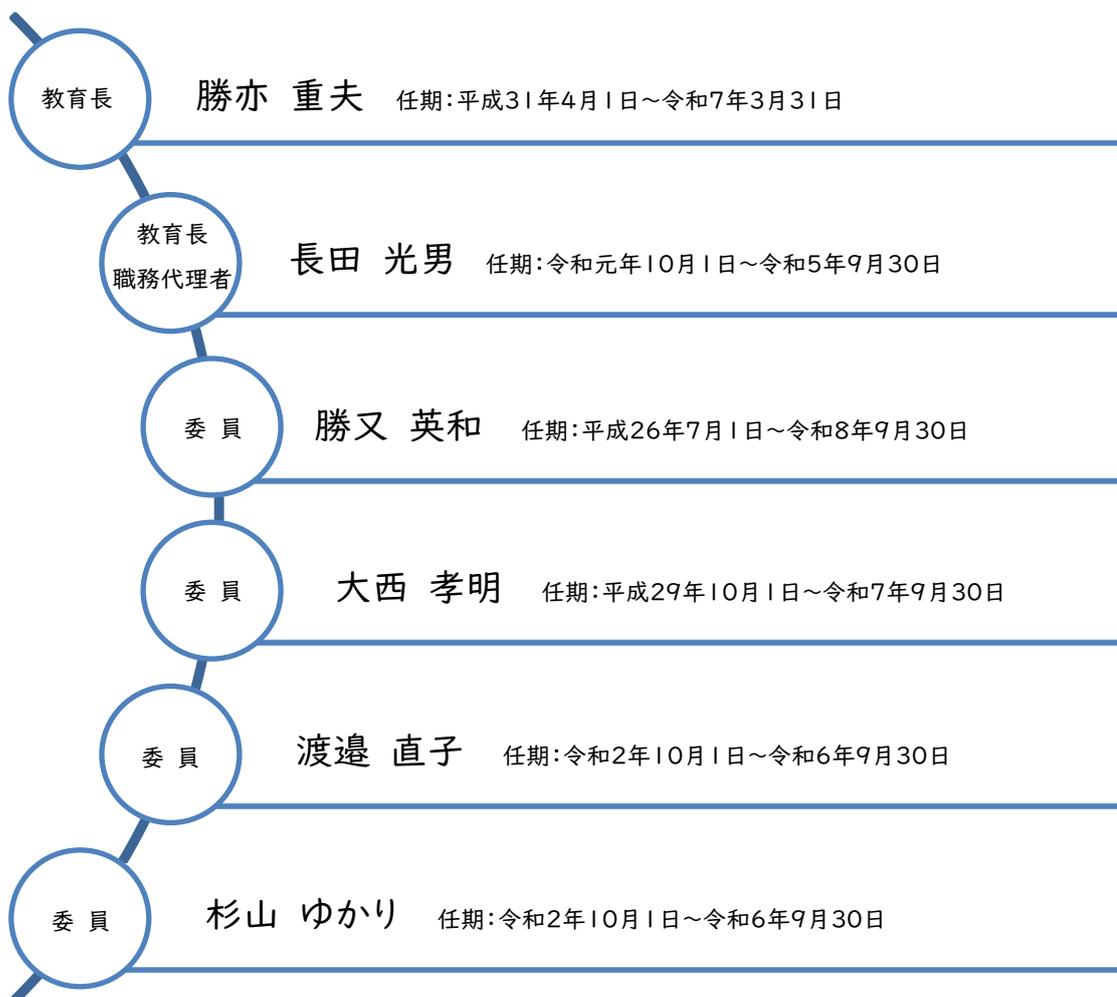
教育委員会は、教育長及び5人の委員をもって組織する。

(任命)

教育長は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育行政に関し識見を有するもののうちから、地方公共団体の長が、議会の同意を得て任命する。

委員は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有するもののうちから、地方公共団体の長が、議会の同意を得て任命する。

【令和5年4月1日現在】



2 歴代教育委員

氏名	就任年月日	退任年月日	氏名	就任年月日	退任年月日
勝又 倭一	S30.2.11	～ S31.9.30	磯邊 岩夫	S58.10.1	～ H3.9.30
	S42.3.27	～ S45.9.30	石田 吉彦	S59.10.1	～ H4.9.30
芹沢 正	S30.2.11	～ S31.2	芹澤 英夫	H2.10.1	～ H10.9.30
菅沼 義之	S30.2.11	～ S31.2	勝又 邦俊	H3.10.1	～ H11.9.30
石田 善一	S30.2.11	～ S31.2	旭 英順	H4.10.1	～ H12.9.30
萩倉 千佐恵	S30.2.11	～ S31.2	横山 桂子	H5.10.1	～ H13.9.30
池田 晋	S30.2.11	～ S31.2	森岡 和鶴子	H10.10.1	～ H18.9.30
杉山 鷲雄	S31.1.1	～ S31.9.30	中村 貞治	H11.10.1	～ H15.9.30
小野 三郎	S31.2	～ S31.9.30	杉山 正一郎	H12.10.1	～ H17.5.18
小宮山 嘉六	S31.2	～ S31.9.30	石田 和久	H13.10.1	～ H17.9.30
江藤 誠之	S31.2	～ S31.9.30	勝又 正敏	H17.6.15	～ H20.9.30
横山 茂理江	S31.10.1	～ S42.3.28	鈴木 芳隆	H18.10.1	～ H22.9.30
杉山 俊郎	S31.10.1	～ S40.3.22	勝間田 喜明	H15.10.1	～ H23.9.30
芹澤 敏	S31.10.1	～ S33.8.13	嶋田 征子	H17.10.1	～ H25.9.30
根上 津奈子(ツナ)	S31.10.1	～ S40.9.30	大胡田 幸子	H20.10.1	～ H24.9.30
勝間田 実	S33.10.1	～ S34.9.9	稲葉 宏道	H22.10.1	～ H26.3.31
勝間田 武衛	S34.10.1	～ S40.3.22	小見山 司朗	H23.10.1	～ H27.9.30
鈴木 孫肇	S40.3.27	～ S46.9.30	岩瀬 こずえ	H24.10.1	～ H28.9.30
鈴木 俊助	S40.10.1	～ S52.9.30	福島 東	H25.10.1	～ H29.9.30
杉山 嘉壽夫	S42.3.18	～ S51.9.30	勝又 英和	H26.7.1	～ 現在
岡田 弘	S45.10.1	～ S53.9.30	勝又 綾子	H27.10.1	～ R1.9.30
萩倉 鐵雄	S46.10.1	～ S50.6.7	芹澤 えつ子	H28.10.1	～ R2.9.30
杉山 藤雄	S50.7.16	～ S58.9.30	佐藤 朋裕	H28.10.1	～ R2.9.30
林 皓一郎	S51.10.1	～ S59.9.30	大西 孝明	H29.10.1	～ 現在
勝俣 美雄	S53.10.1	～ S57.9.30	長田 光男	R.1.10.1	～ 現在
永井 三郎	S52.10.1	～ S57.11.11	渡邊 直子	R2.10.1	～ 現在
幾田 裕男	S57.10.1	～ H2.9.30	杉山 ゆかり	R2.10.1	～ 現在
根上 眞一	S57.12.23	～ H5.9.30			

3 歴代教育委員長

氏名	就任年月日	退任年月日	氏名	就任年月日	退任年月日
勝又 倭一	S30.2.11	～ S31.9.30	芹澤 英夫	H5.10.1	～ H9.9.30
	S42.3.27	～ S45.9.30		旭 英順	H9.10.1
江藤 誠之	S31.2	～ S31.9.30	勝又 邦俊	H10.10.1	～ H11.9.30
横山 茂理江	S31.10.1	～ S39.9.30	横山 桂子	H12.10.2	～ H13.9.30
	S40.10.1	～ S42.2.28	中村 貞治	H14.10.1	～ H15.9.30
杉山 俊郎	S39.10.1	～ S40.3.22	森岡 和鶴子	H13.10.1	～ H14.9.30
岡田 弘	S45.10.1	～ S53.9.30	勝間田 喜明	H18.10.1	～ H23.9.30
勝俣 美雄	S53.10.1	～ S57.9.30	嶋田 征子	H23.10.1	～ H25.9.30
杉山 藤雄	S57.10.1	～ S58.9.30	稲葉 宏道	H25.10.1	～ H26.3.31
林 皓一郎	S58.10.1	～ S59.9.30	小見山 司朗	H26.7.1	～ H27.9.30
磯邊 岩夫	S59.10.1	～ S63.9.30	勝又 英和	H27.10.1	～ H28.3.31
幾田 裕男	S63.10.1	～ H2.9.30			
根上 眞一	H2.10.1	～ H5.9.30			

※平成 27 年 4 月 1 日から施行された改正地方教育行政法による新たな教育委員会制度への移行に伴い、平成 28 年 3 月 31 日をもって教育委員長職は廃止された。

4 歴代教育長

氏名	就任年月日	退任年月日	氏名	就任年月日	退任年月日
勝又 秀丸	S30.3.14	～ S39.9.30	細谷 旭	H12.10.2	～ H16.9.30
土屋 一夫	S39.10.1	～ S47.9.30	三井 米木	H16.10.1	～ H24.9.30
土屋 隆	S47.10.1	～ S55.9.30	勝又 将雄	H24.10.1	～ H28.3.31
芹澤 榮一	S55.10.1	～ S63.9.30	※勝又 将雄	H28.4.1	～ H31.3.31
鈴木 賢治	S63.10.1	～ H8.9.30	勝亦 重夫	H31.4.1	～ 現在
吉川 桂二	H8.10.1	～ H12.9.30			

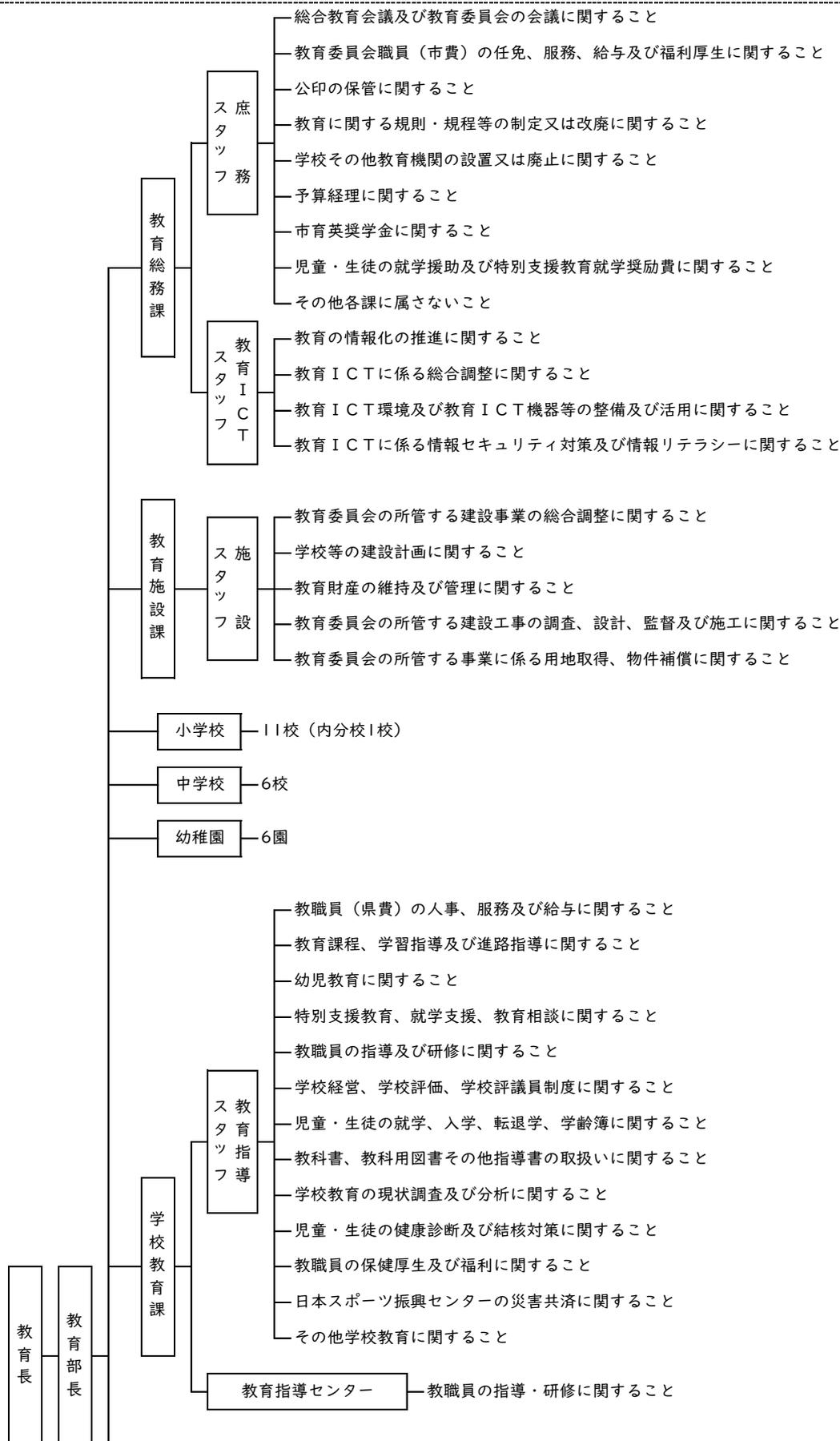
※平成 27 年 4 月 1 日から施行された改正地方教育行政法による新たな教育委員会制度への移行に伴い、平成 28 年 4 月 1 日より新教育長に任命された。

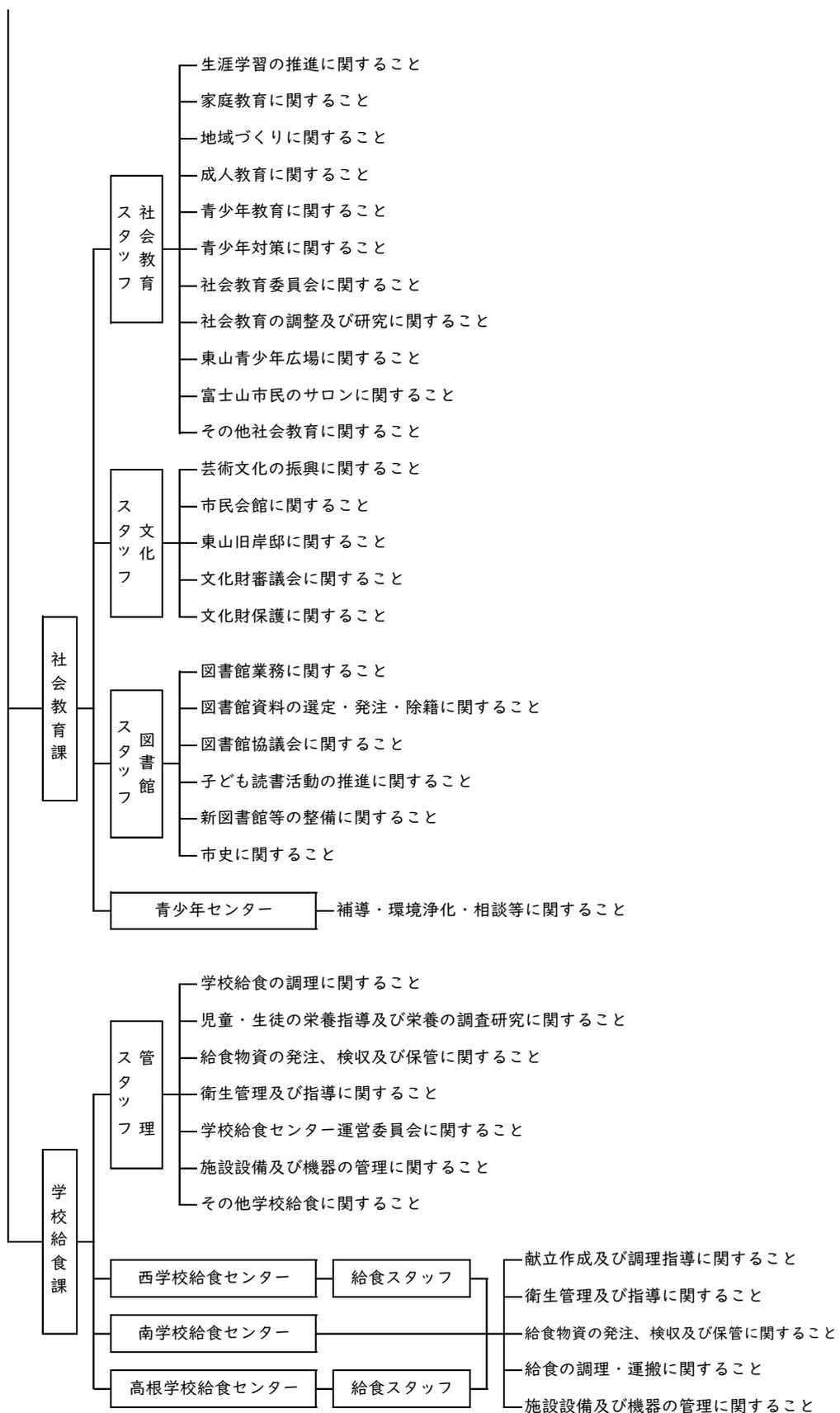
5 令和4年度教育委員会会議

4.21	定例	<p>御教議第12号 御教議第13号 御教議第14号 御教議第15号 御教議第16号</p>	<p>令和4年度御殿場市教育施策について 御殿場市文化財審議会委員の委嘱について 地域学校協働活動推進員の委嘱について 青少年補導委員の委嘱について 令和4年度就学援助について</p>
5.18	定例	<p>御教議第17号 御教議第18号 御教議第19号 御教議第20号 御教議第21号 御教議第22号 御教議第23号 御教議第24号 御教議第25号 御教議第26号 御教議第27号 御教議第28号 御教議第29号</p>	<p>御殿場市立学校設置審議会委員の委嘱について 御殿場市就学支援委員会委員の委嘱又は任命について 御殿場市就学支援委員会専門調査員の委嘱又は任命について 御殿場市就園支援委員会委員の委嘱又は任命について 御殿場市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱又は任命について 御殿場市立学校結核対策委員会委員の委嘱又は任命について 富士岡中学校学校運営協議会委員の委嘱又は任命について 御殿場市社会教育委員の委嘱について 御殿場市青少年問題協議会委員の委嘱について 御殿場市放課後子どもプラン運営委員会委員の委嘱について 御殿場市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱又は任命について 御殿場市スポーツ推進審議会委員の委嘱又は任命について 令和4年度就学援助について</p>
6.21	定例	<p>御教議第30号 御教議第31号 御教議第32号 御教議第33号 御教議第34号</p>	<p>御殿場市文化財審議会専門委員の委嘱について 御殿場市立図書館条例施行規則の全部を改正する規則について 市立図書館協議会委員の委嘱又は任命について 子ども読書活動推進会議委員の委嘱又は任命について 令和4年度就学援助について</p>
7.21	定例	<p>御教議第35号 御教議第36号 御教議第37号</p>	<p>令和4年度御殿場市教育委員会の自己点検・評価について 市指定天然記念物「永塚のカシワ」の指定解除について 令和4年度就学援助について</p>
8.17	定例	<p>御教報第1号 御教議第38号 御教議第39号</p>	<p>令和3年度御殿場市一般会計決算(教育費)について 令和4年度特別支援教育就学奨励費について 令和4年度就学援助について</p>
9.22	定例	<p>御教議第40号 御教議第41号</p>	<p>御殿場市就学援助支給要綱の一部改正について 令和4年度就学援助について</p>
10.3	臨時	<p>御教報第2号</p>	<p>御殿場市教育委員会教育長職務代理者の指名について</p>

10.21	定例	
	御教議第42号	御殿場市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について
	御教議第43号	令和4年度就学援助について
11.17	定例	
	御教議第44号	御殿場市立図書館及び御殿場市富士山市民のサロンの指定管理者の指定について
	御教議第45号	令和4年度就学援助について
12.21	定例	
	御教議第46号	第28回全国報徳サミット御殿場市大会実行委員会幹事会設置規程(案)の制定について
	御教議第47号	令和4年度就学援助について
1.20	定例	
	御教議第1号	御殿場市立幼稚園園則の一部を改正する規則の制定について
	御教議第2号	令和4年度就学援助について
2.16	定例	
	御教議第3号	令和5年度御殿場市一般会計当初予算について
	御教議第4号	令和5年度組織改編に伴う関係例規の整備について
	御教議第5号	令和4年度特別支援教育就学奨励費について
	御教議第6号	令和5年度新入学児童学用品費の入学前支給について
3.16	定例	
	御教議第7号	個人情報の保護に関する法律等の改正に伴う関係規則の改正等について
	御教議第8号	御殿場市立小・中学校の通学区域を定める規則の一部を改正する規則の制定について
	御教議第9号	学校医の委嘱について
	御教議第10号	令和5年度就学援助について
3.16	臨時	
	御教議第11号	令和5年度御殿場市教育委員会職員の人事異動について
	御教議第12号	令和5年度県費負担教職員の人事異動について
	御教議第13号	令和5年度御殿場市会計年度任用職員の任命について

6 教育委員会機構及び事務分掌





教育行財政

1 御殿場市教育大綱(概略版)

【基本理念】

まちづくり、地域づくりの礎は「人」であり、「人づくり」がまちづくり、地域づくりそのものです。「人づくり」の大きな柱は、もちろん教育の充実です。社会力や人間力を核とした心の教育の推進等が、本市の教育文化面の政策方針である「富士山のように大きな心を持った人づくり」の実現に繋がっていきます。

子供たちは地域の宝です。子供たちの元気と人と人とのつながりが、まちや市民を元気にし、未来につながる新たな可能性を生み出します。子供を含むすべての市民が、たくさんの愛情を互いに受けながら健やかに生活できる夢と希望にあふれたまちとなることを期待しています。

SDGs の理念のもと、一人一人が持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力として、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことができる教育の基盤づくりに取り組みます。

I 人生の礎となる幼児期、学齢期の教育の充実を目指します。

変化の激しい時代となり、今までになかった課題が次々と生まれています。このような時代の中で、人々が長い人生を生きていくためには、知識だけではなく思考力やコミュニケーション能力など様々な力が必要とされます。そのため、学びの基礎となる幼児教育や学校教育への期待も今まで以上に大きくなっています。生きる力を育むために幼児期、学齢期の教育の充実を目指します。

II 市民のだれもがあらゆる機会、あらゆる場所で学び続ける環境づくりを目指します。

社会人になれば、学びが終わるわけではありません。生涯学習という言葉の通り、人は常に学び続けていきます。学びのニーズは多種多様ですが、だれでも、いつでも、どこでも学びが実現できるようにすることが、人々の暮らしの充実に繋がります。学びのニーズを的確にキャッチし、充実した学びの環境をつくり、その学びの成果を適切に生かすことのできる社会づくりを目指します。

III 社会総がかりで子供を育て、市民が共に成長できるまちづくりを目指します。

子どもの健全な成長は、家庭・地域・学校が連携・協力することによって実現できます。「御殿場市子ども条例」で示したように、社会総がかりで子供を育てていくことが大切であり必要です。今を生き、未来を担う子供の育成のために、市民一人一人が、「当事者意識」をもって主体的に関わることで、市民自身の自己実現が図られ、より充実した生活に繋がることを目指します。



【6つの政策】

人を育む 環境の充実

- 「豊かな感性、確かな知性、健やかな心身」を育む魅力ある教育の推進とその環境整備に努める。
- 家庭、地域、学校などが一体となって、市民総がかりで子供の教育と青少年の健全育成を行う。

生涯学習と 地域活動の 推進

- 様々な学習機会の提供と情報発信に努め、市民の生涯学習を推進する。
- 積極的に学び合い、人を育む地域づくり活動を推進する。
- 地域の人々の助け合い意識や、地域課題を解決する力を高め、地域コミュニティのつながりを強化する。

芸術・ 文化活動の 振興

- 市民一人一人が担い手となり、暮らしを彩る芸術・文化を振興する。

スポーツの 振興

- スポーツに取り組む市民の目的やレベルに応じたスポーツ振興を図る。
- スポーツ・レクリエーション活動を通じて、家族や友人、地域などとの交流を深めることのできる環境整備に努める。

歴史と文化 の継承

- 本市の歴史と文化について、多くの市民がより深く理解し、地域全体で文化が継承されるよう努める。
- 地域の歴史や文化の研究・検証を継続し、保全・管理や新たな活用方法を模索する。

多文化共生 と国際交流 の推進

- 市民と在住外国人が相互の理解のもと、安心して快適に暮らすことのできる環境の整備に努める。
- 外国人訪問客などとの交流活動や国際交流協会などとの民間交流事業等への支援を通して、国際化の推進を図る。
- 国際姉妹都市や諸外国との交流を推進する。

2 令和5年度御殿場市教育施策

・基本方針・

本年度の御殿場市の教育は、「御殿場市教育大綱」の政策方針である、「富士山のように大きな心を持った人づくり」の実現に向けて、「第2期御殿場市教育振興基本計画」に掲げる各種施策を推進します。

学校教育では、地域とともにあるコミュニティ・スクールの取り組みをさらに広げるほか、ICT機器の活用により、個別最適化した学びと協働的な学びの一体化をさらに推進し、持続可能な学びの場の確立に努めます。そしてこれらの取り組みを推進する原動力となる教職員の資質向上を図り、児童生徒へのきめ細やかな指導ができるよう、ICT支援員や特別支援学級・発達障害児支援補助者の増員を図るとともに、増加傾向にある不登校児童生徒に対応するため、学校復帰や社会的自立に向けた適応指導や保護者の相談支援を実施する教育支援センターの整備に着手します。また、小中学校の施設改修、教育備品の充実に努め、より良い学習環境の維持・整備に努めます。

社会教育では、地域づくりの推進や家庭教育力の向上及び各種団体への支援に努めると共に、青少年センターを中心とした青少年教育等、青少年の健全育成に引き続き取り組んでいきます。また、「けやきかん」は、市民の生涯学習及び多様な世代の交流を促進し、社会教育の推進を図るため、指定管理者と連携していきます。図書館は、市民の生涯学習や情報の拠点として、引き続き蔵書の充実を図るとともに、指定管理者による管理・運営により利用者サービスの更なる向上に努めます。新図書館・郷土資料館の整備は、基本・実施設計が完了し、いよいよ本体建設工事に着手してまいります。

芸術文化の振興は、文化施設的环境整備・有効活用を努めると共に、アフターコロナにおける「ごてんば市民芸術祭」等の事業を推進し、市民の芸術文化活動を支援します。また、文化財につきましては、管内の多様な文化財の保存と活用に努め、世界文化遺産である富士山については、登録10周年を記念し、記念展示を実施すると共に、県・裾野市と共同で引き続き須山口・御殿場口の巡礼路調査に取り組みます。

学校給食は、徹底した衛生管理のもと、安全安心かつ魅力ある給食づくりに努めます。そして、「ごてんばこめカレー」や「ごてんばこめこハヤシ」の提供等を通じて給食の時間を充実した体験の場とし、楽しい食習慣の育成に努めると共に、子育て支援策の一環として、学校給食費助成事業を継続的に実施します。また、施設整備等については、施設の改修を計画的に実施し、有効活用を図っていきます。

市民総がかりによる子育て支援の輪を広げるため、「子ども条例」及び「子ども条例行動計画」の周知、働きかけを積極的に行い、特に「いじめ」については、「御殿場市いじめ防止基本方針」を基に、いじめの未然防止と共に早期発見、早期解決を図り、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるように引き続き努めます。

・重点政策・

- 1, 人を育む環境の充実
- 2, 生涯学習と地域活動の推進
- 3, 芸術・文化活動の振興
- 4, 歴史と文化の継承
- 5, 多文化共生と国際交流の推進

重点政策Ⅰ 人を育む環境の充実

主要施策Ⅰ 乳幼児期における教育の充実

- ・幼稚園教育充実のための支援
- ・幼児教育の充実のための指導員の配置
- ・乳幼児期の豊かな育ちの支援

主要施策Ⅱ 人間力と社会力を核とした教育の充実

- 【1】豊かな感性を育む教育
 - ・社会性とモラルを育む教育活動の充実
 - ・学校等の連携・一貫教育の実施
 - ・各補助者等による支援事業の充実
 - ・個々のニーズに応じた教育支援体制の整備
 - ・いじめの未然防止・早期発見等に向けた対応の充実
- 【2】確かな知性を育む教育
 - ・教育の情報化の推進
 - ・地域に根ざした環境教育の推進
 - ・全国学力・学習状況調査の活用
 - ・子どもたちと向き合う時間を拡充するための学年事務加配
- 【3】健やかな心身を育む教育
 - ・子どもたちの心身の健康を支える保健室経営と学校専門相談医の活用
 - ・運動習慣の定着
 - ・食育の充実
 - ・危機管理対応

主要施策Ⅲ キャリア教育の充実

- ・職場体験を通じた社会人・職業人としての「生きる力」の育成
- ・夢とあこがれを育てる夢創造事業の実施
- ・性別に捉われない価値観の醸成

主要施策Ⅳ 開かれた学校・魅力ある学校づくりの推進

- ・教育課程の改善を目指した自己評価・学校関係者評価の実施
- ・中学校区ごとの育ちの目標の共有化と目標実現のための取組の実施
- ・教育相談体制の充実
- ・就学援助制度等の推進
- ・コミュニティ・スクールの推進

主要施策5 教職員・指導者の人材確保・育成

- ・御殿場市教育フォーラム等の各種研修会の実施
- ・市研究指定校による研究推進・自主発表会の開催
- ・教育指導センターの円滑な運営
- ・指導主事の指導・支援による校内研修の活性化

主要施策6 学校などの教育施設・設備の充実

- ・校舎改築事業(西中学校外構工事)
- ・環境整備事業(御殿場小学校・御殿場中学校)
- ・ICTを活用した教育の推進と機器の整備

主要施策7 学校給食の充実

- ・地場産品の利用促進
- ・給食だより・給食献立表の発行
- ・安全・安心な学校給食の提供

主要施策8 高等教育等の支援の推進

- ・魅力ある高等教育・学術の支援

主要施策9 家庭教育力、地域教育力の向上

- ・家庭教育力の向上
- ・地域教育力の向上

主要施策10 青少年の健全育成

- ・青少年センター事業の推進
- ・体験の場の提供

重点政策2 生涯学習と地域活動の推進

主要施策1 学習機会の提供、学習成果の発信

- ・学習機会の提供
- ・学習成果の発信

主要施策2 地域づくり活動の支援

- ・地域づくり活動にかかる人材育成
- ・地域づくり活動学習講座の開催

主要施策3 社会教育関係団体等の活動支援

- ・社会教育関係団体の育成
- ・生涯学習に取り組む団体の支援

主要施策4 図書館機能の充実

- ・蔵書の充実と読書の推進
- ・各種サービスの充実
- ・ボランティア及び近隣図書館・学校図書館との連携
- ・新図書館等の整備

主要施策5 自治会等の自主的な活動の支援と地区集会施設の整備

- ・自治会等の自主的な活動の支援
- ・地区集会施設の整備

重点政策3 芸術・文化活動の振興

主要施策1 芸術・文化活動機会の充実

- ・鑑賞機会の充実
- ・創作・発表の機会の充実
- ・次世代の担い手対策の充実

主要施策2 芸術・文化活動体制の強化

- ・活動団体の体制強化
- ・地域及び企業、他分野との連携

主要施策3 芸術・文化活動基盤の確保

- ・文化施設の機能向上
- ・文化施設の有効活用
- ・施設管理者との連携強化

重点政策4 歴史と文化の継承

主要施策1 歴史と文化の調査・研究と支援

- ・文化財保護の啓発
- ・指定文化財の保護と活用
- ・埋蔵文化財の調査
- ・神社棟札調査の継続

主要施策2 文化財等の公開・展示と活用

- ・阿部雲気流博物館資料の整備・活用
- ・文化財に親しむ市民の拡大
- ・新図書館における郷土資料館機能

主要施策3 世界遺産富士山の保全と啓発

- ・世界遺産富士山の保全
- ・世界遺産富士山の保全・啓発に向けた活動の支援
- ・富士山巡礼路調査の実施

主要施策4 郷土資料館の整備

- ・郷土資料館の検討
- ・民俗資料収蔵庫内資料の整理・活用

重点政策5 多文化共生と国際交流の推進

主要施策1 多文化共生の推進

- ・外国人児童生徒適応指導のための人員の配置
- ・外国人児童生徒の支援・指導の充実
- ・多文化を理解する教育の推進
- ・やさしい日本語の推進

主要施策2 国際姉妹都市及び諸外国との交流の推進

- ・都市間における国際協力の推進
- ・交流事業の推進

主要施策3 国際化に対応できる人材の育成

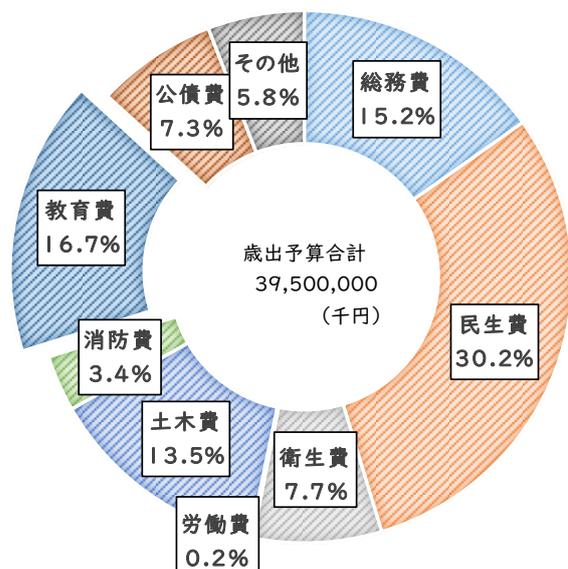
- ・語学力・コミュニケーション能力等の向上
- ・青少年海外教育交流事業の推進
- ・ボランティアの充実
- ・国際理解の推進

3 令和5年度御殿場市一般会計予算

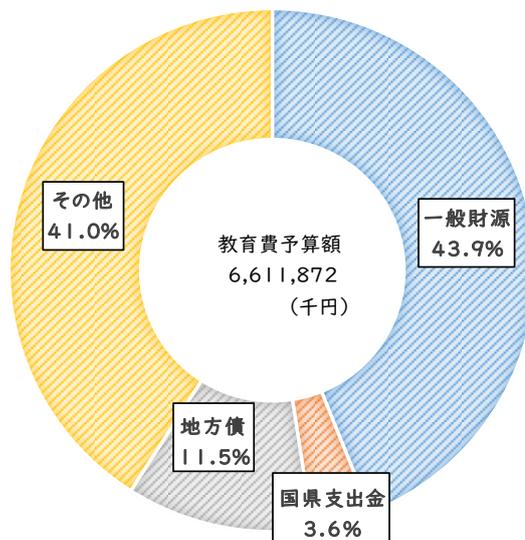
(単位:千円)

区分	本年度 予算額	前年度 予算額	本年度予算額の財源内訳			
			特定財源			一般財源
			国県支出金	地方債	その他	
議 会 費	228,554	226,075			680	227,874
総 務 費	5,987,967	5,552,486	291,826	76,500	1,859,958	3,759,683
民 生 費	11,920,605	12,008,784	5,139,044	10,400	1,346,118	5,425,043
衛 生 費	3,058,643	2,952,815	111,645	27,900	1,044,643	1,874,455
労 働 費	61,442	48,240	8,550		180	52,712
農 林 水 産 業 費	998,641	795,779	247,458	122,700	170,656	457,827
商 工 費	966,854	944,215	34,805		299,141	632,908
土 木 費	5,328,304	4,800,335	703,862	1,078,500	1,680,594	1,865,348
消 防 費	1,347,176	1,249,282	20,440	6,800	54,828	1,265,108
教 育 費	6,611,872	5,222,248	240,899	757,500	2,709,033	2,904,440
災 害 復 旧 費	162	162				162
公 債 費	2,881,376	2,992,816			10,000	2,871,376
諸 支 出 金	1	1				1
予 備 費	108,403	106,762				108,403
歳 出 合 計	39,500,000	36,900,000	6,798,529	2,080,300	9,175,831	21,445,340

区分別歳出予算比率



教育費の財源内訳

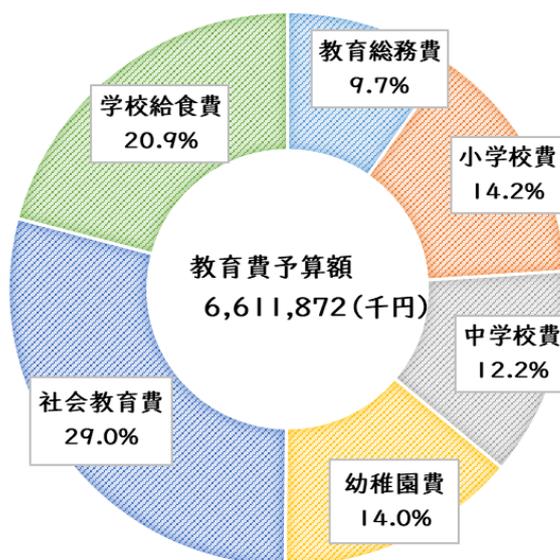


4 令和5年度教育費予算

本年度予算額の財源内訳
(単位:千円)

区分	本年度 予算額	前年度 予算額	前年度比	特定財源			一般財源
				国・県支出金	地方債	その他	
10.教育費	6,611,872	5,222,248	1,389,624	240,899	757,500	2,709,033	2,904,440
1.教育総務費	644,321	617,318	27,003	31	0	232,654	411,636
1.教育委員会費	2,899	2,901	△ 2	0	0	0	2,899
2.事務局費	347,754	333,792	13,962	0	0	47,495	300,259
3.教育指導費	293,668	280,625	13,043	31	0	185,159	108,478
2.小学校費	939,092	772,154	166,938	45,747	148,000	281,246	464,099
1.学校管理費	659,891	497,084	162,807	43,152	148,000	151,955	316,784
2.教育振興費	279,201	275,070	4,131	2,595	0	129,291	147,315
3.中学校費	805,139	1,051,331	△ 246,192	9,864	67,200	436,870	291,205
1.学校管理費	306,881	177,103	129,778	6,115	44,100	74,180	182,486
2.教育振興費	166,634	148,789	17,845	3,749	0	64,438	98,447
3.西中学校校舎改築事業費	331,624	725,439	△ 393,815		23,100	298,252	10,272
4.幼稚園費	926,798	923,094	3,704	182,917	0	224,616	519,265
1.幼稚園費	926,798	923,094	3,704	182,917	0	224,616	519,265
5.社会教育費	1,915,801	758,560	1,157,241	2,340	362,200	1,023,517	527,744
1.社会教育総務費	234,635	223,796	10,839	2,240	0	75,609	156,786
2.文化財費	12,169	16,090	△ 3,921	100	0	2,670	9,399
3.図書館費	1,494,599	343,785	1,150,814	0	362,200	912,885	219,514
4.芸術文化振興費	174,398	174,889	△ 491	0	0	32,353	142,045
6.学校給食費	1,380,721	1,099,791	280,930	0	180,100	510,130	690,491
1.給食センター運営費	1,380,721	1,099,791	280,930	0	180,100	510,130	690,491

区分別歳出予算比率

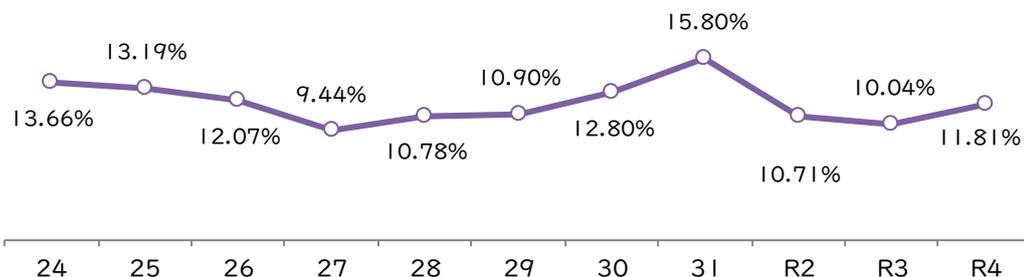


5 教育費の推移

(単位:千円)

年度	一般会計決算額	教育費決算額	比率
24	34,925,755	4,772,460	13.66%
25	34,871,675	4,600,010	13.19%
26	34,398,000	4,150,999	12.07%
27	35,613,104	3,363,467	9.44%
28	37,963,558	4,092,219	10.78%
29	36,560,257	3,986,279	10.90%
30	38,419,665	4,916,087	12.80%
31	38,342,348	6,057,447	15.80%
R2	49,612,834	5,314,959	10.71%
R3	41,458,102	4,162,430	10.04%
R4	41,410,712	4,890,169	11.81%

※決算書より



6 児童・生徒一人当たりの教育費

(単位:円)

区分\年度	30	31	R2	R3	R4
小学校費	149,308	258,703	284,206	115,066	161,100
中学校費	591,242	775,658	443,749	298,862	393,123
幼稚園費	1,112,132	1,381,072	1,489,612	1,585,601	1,762,115

※決算書より

学校教育

Ⅰ 学校教育

① 令和5年度御殿場市教育委員会学校教育課教育構想

◆基本目標 持続可能な安定した学びの場の確立を目指して

御殿場市子ども条例の基本理念にのっとり、全ての子供の幸せと健やかな成長を目指すため、社会とともにある魅力ある学校づくりを推進する。

誰一人取り残すことのない学びの実現に向けて

豊かな感性

「誠実さ」「やる気」「思いやり」を身に付け、言葉や態度で表すことのできる子

授業づくり

◇主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

確かな知性

学ぶ意欲をもち、基礎・基本を身に付け学び合い、よく考え、それを表現できる子

生徒指導

◇安心できる居場所づくり、絆づくり

重点目標

健やかな心身

健康的なからだづくりを意識した生活を送り、やりぬく気持ちを大切にできる子

特別支援教育

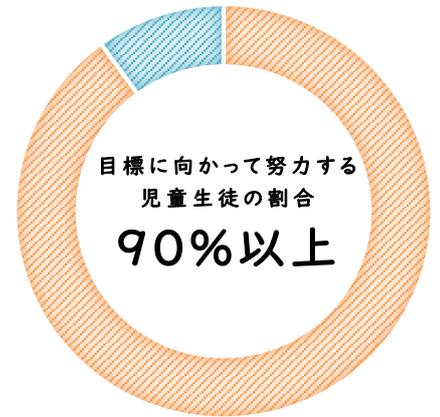
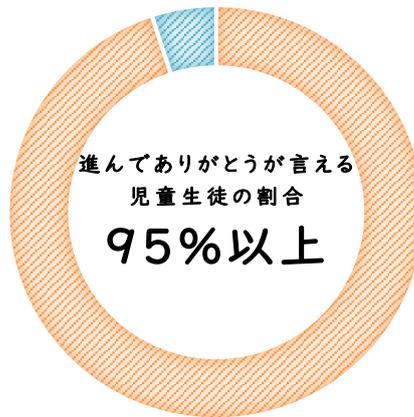
◇個のニーズに応じた教育の質の向上と場の提供

教職員の資質向上・地域に開かれた教育課程・SDGsの実現に向けて

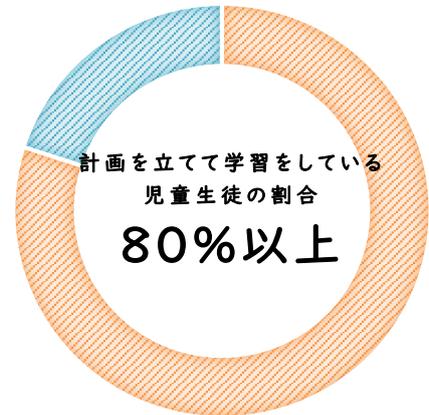
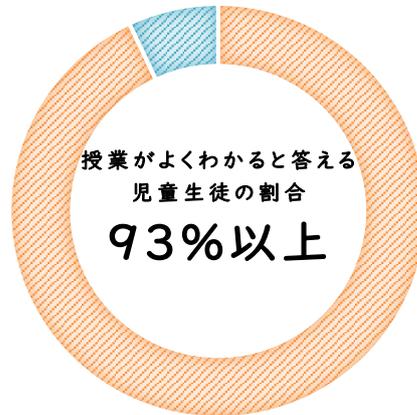
「令和の日本型学校教育」の構築を目指して

◆重点目標達成率(令和5年度目標値)

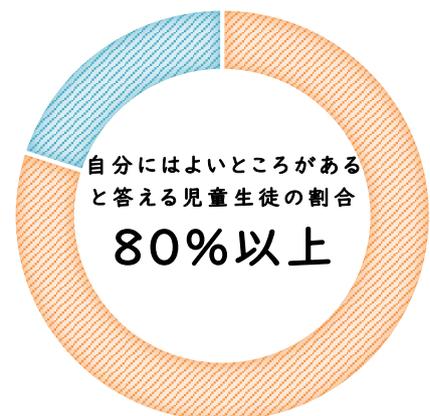
<豊かな感性>



<確かな知性>



<健やかな心身>



令和5年度御殿場市学校教育課グランドデザイン

基本目標 持続可能な安定した学びの場の確立を目指して

御殿場市子ども条例の基本理念にのっとり、全ての子供の幸せと健やかな成長を目指すため、社会とともにある魅力ある学校づくりを推進する。

重点目標

豊かな感性

「誠実さ」「やる気」「思いやり」を身に付け、言葉や態度で表すことのできる子

確かな知性

学ぶ意欲をもち、基礎・基本を身に付け、学び合い、よく考え、それを表現できる子

健やかな心身

健康的なからだづくりを意識した生活を送り、やりぬく気持ちを大切にできる子

学校が楽しい 95% 授業がよくわかる 93% 計画を立てて学習をしている 80%
 気持ちのよい挨拶ができる 95% 進んでありがとうが言える 95%
 自分にはよいところがある 80% 目標に向かって努力する 90%

誰一人取り残すことのない学びの実現に向けて

授業づくり

- ◆主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- ◇個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- ◇御殿場型 GIGA スクール構想の推進と充実
- ◇外国語教育の推進と充実
- ◇地域教材の活用(ふるさとごてんば・ふじさんのように)

生徒指導

- ◆安心できる居場所づくり、絆づくり
- ◇自分も相手も大切にする心の教育の充実
- ◇不登校の未然防止と、丁寧な初期対応
- ◇いじめのきざしをとらえ、積極的な認知とチーム体制による迅速で適切な初期対応
- ◇学校教育相談員、SC、SSW 等や関係機関との連携

特別支援教育

- ◆個のニーズに応じた教育の質の向上と場の提供
- ◇特別支援教育コーディネーターを核にした校内支援体制の充実
- ◇自己肯定感を育む温かな指導・支援
- ◇個別の教育支援計画及び個別の指導計画の活用を軸とした支援体制の確立
- ◇幼保こ小中連携、外部との連携による切れ目ない就学支援体制づくり

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して

教職員の資質向上

- ◇キャリアステージに応じた研修の充実
 - ・御殿場市教育フォーラム
 - ・教育論文への計画的な取組
 - ・教師力向上講座
 - ・若手臨時講師研修
- ◇教育指導センター訪問の充実
- ◇市教育刊行物による発信
- ◇ごてんば研修アーカイブの充実

地域に開かれた教育課程

- ◇コミュニティスクール事業の推進(令和9年度までに市内全小中学校にCS 導入)
- ◇アプローチ・スタートカリキュラムを生かした幼児教育と義務教育の接続
- ◇地域の実情に応じた中学校区ごとの特色ある教育課程の編成

SDGsの実現に向けて

- ◇課題や困難を抱える子どもへのきめ細かな対応
- ◇SDGs の視点を踏まえた質の高い教育の推進
 - ・環境教育
 - ・国際理解教育
 - ・平和教育
 - ・人権教育
 - ・キャリア教育
 - ・食育
 - ・消費者教育
 - ・防災教育 等
- ◇持続可能な社会づくりの担い手の育成

③ 令和5年度事業一覧表

事業名	内容	予算(千円)
健康管理事業	学校教育法及び学校保健安全法による園児・児童・生徒定期健診、次年度の入園・入学予定者に入園児・就学時健康診断を実施する。並びに、教職員を対象とした生活習慣病健診・指定年齢健診・人間ドック・ストレスチェックを実施する。	28,416
教育相談・いじめの防止等対策事業	いじめ問題や不登校児童・生徒の解消を図るため、中学校区ごとに相談員を配置し、児童・生徒の悩み等を聞いて励ます体制を整え、元気に登校できるよう支援活動を実施する。 また、子どもを取り巻く環境に着目し、問題解決に向かう方策を立てるスクールソーシャルワーカーを配置する。	16,940
学校教育充実事業	特別支援学級・情緒通級指導教室・ことばの教室・保健室・学校図書館補助者を配置するとともに、外国人適応指導教室指導員、特別支援巡回指導員を派遣し、学校教育の充実を図る。	106,304
発達障害児支援事業	通常の学級に在籍する発達障害児の中で、特別な支援を必要とする児童生徒の多い学級に支援員を派遣し、個別の支援を行う。	54,348
魅力ある学びづくり推進事業	多忙化する教職員が児童生徒一人ひとりと向き合う時間を確保できるよう、事務的な業務を支援する会計年度任用職員を大規模校中心に配置する。	7,142
教育指導センター事業	教職員の授業力や指導力の更なる向上のため、教育指導員が学校を訪問し、個人への指導・支援を行う。また、市の教育力向上のための調査分析等を行う。 (学校教育課内に設置)	13,922
夢創造事業	心豊かな人づくりを目的とし、講演会や鑑賞会、体験活動等、各学校が子どもの実態に基づき特色ある事業を実施し、情操教育や生き方教育の有効な手立てとする。	2,448
教育支援センター事業	増加傾向にある不登校の児童生徒に対応するため、学校や家庭以外の居場所となるよう、適応指導や保護者の相談支援等を行う教育支援センターの整備を行う。	18,698

事業名	内容	予算(千円)	
教育研究指定校 交付金交付事業	学習評価 研究指定校	東小学校を指定校とし、学習指導要領に求められている資質・能力の育成を目指した評価について研究を行う。「主体的に学習に取り組む子が育つ授業づくり」を軸として、子どもの学びを見取り指導に生かしていくことを通して、授業づくりと学習評価の在り方について研究を進めていく。	73
	学習評価 研究指定校	原里中学校を指定校とし、対話における授業分析やアンケートを活用した学習評価を継続して行うことで、授業の中で生き生きと対話し、思いや学びをつなげて考えを深める生徒の姿を実現するための授業の在り方について研究を行う。	73
	コミュニティ スクール 研究指定校	高根小学校及び高根中学校を指定校とし、地域とともにある開かれた学校づくりの推進を目指す。高根小・中共通の学校運営協議会を設置することで、中学校区における一体的なコミュニティ・スクールの導入に向けた研究を行う。	146
外国人英語指導者(ALT)配置事業	市内 6 中学校・10 小学校に、外国人指導者(ALT)12名をそれぞれ派遣し、英語教育の充実を図るとともに、いろいろな場面で身近に外国人と接し、コミュニケーション能力を高め、国際感覚を養成する。	56,848	
幼児教育支援事業	幼児教育の充実、幼稚園・保育園・小学校との連携、家庭教育の在り方についての推進を図る。	113	
学校運営協議会運営事業	「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」への転換を推進するため、市内小中学校にCSディレクターを配置し、順次、学校運営協議会を設置する。	1,440	

④ 学校・園一覧(令和5年5月1日現在)

【幼稚園】

御殿場幼稚園

住所	〒412-0021 二枚橋 260-1	3歳児	男子 22人 女子 18人
電話	82-0037	4歳児	男子 21人 女子 29人
園長	水口 美絵	5歳児	男子 25人 女子 35人
教頭	芹澤 由美子 山根 ゆきの	職員数	22人

園教育目標

えがおいっぱい

重点目標

やってみよう!

具体策

- きらきらえがお
 - ・思いやりを育む
 - ・豊かな心の育成
 - ・かかわる力の育成(人や物とのかかわり)
- わくわくえがお
 - ・聞く力・表現する力の育成
 - ・主体的に遊ぶための環境と援助
 - ・考えたり試したりする場の工夫
- すくすくえがお
 - ・生活習慣の確立
 - ・基礎体力を育む保育の工夫
 - ・挨拶・返事

研究主題

やってみようとする子を育てる保育の工夫

原里幼稚園

住所	〒412-0045 川島田 1917-2	3 歳児	男子 7 人 女子 8 人
電話	89-0766	4 歳児	男子 4 人 女子 10 人
園長	大津 裕美	5 歳児	男子 7 人 女子 11 人
教頭	伊倉 絵美	職員数	9人

園教育目標

やってみようとする子

重点目標

よくきいて考える子

具体策

- 思いやりのある子
 - ・コミュニケーション能力の育成
 - ・豊かな感動体験
 - ・交流体験の充実
- 元気に遊ぶ子
 - ・基本的な生活習慣の確立
 - ・体力作り
 - ・集団遊びの充実
- 考える子
 - ・きく力・伝える力の育成
 - ・協同的な遊びの充実

研究主題

よくきいて考える子を育てる保育の工夫

玉穂幼稚園

住所	〒412-0006 中畑 426-1	満3歳児	男子4人 女子0人
電話	89-2226	3歳児	男子6人 女子7人
園長	望月 尚美	4歳児	男子10人 女子6人
教頭	土屋 陽正	5歳児	男子8人 女子12人
		職員数	13人

園教育目標

にこにこ もりもり 元気な子

重点目標

興味をもってやってみよう

具体策

- 自己発揮体験
 - ・主体的に遊びに取り組むための環境と援助の工夫
 - ・聞く力・話す力の育成
 - ・戸外環境を活かした遊び
 - ・基本的技能の習得
- 人と関わる豊かな体験
 - ・計画的な異年齢交流
 - ・自分や友達のよさに気付く活動
 - ・地域交流
- 元気アップ体験
 - ・あいさつ・返事
 - ・健やかでたくましい体作り
 - ・食育

研究主題

「やってみたい」から「もっと」につながるための保育環境の工夫

富士岡幼稚園

住所	〒412-0037 中清水 119	3 歳児	男子 2 人 女子 8 人
電話	87-0642	4 歳児	男子 12 人 女子 3 人
園長	伊藤 昭子	5 歳児	男子 5 人 女子 12 人
教頭	浅井 淳	職員数	9 人

園教育目標

心身ともにたくましい子

重点目標

最後まで やってみよう

具体策

- 学び合える遊びの体験
 - ・つながりのある遊びの充実
 - ・試行錯誤する遊びの充実
 - ・聞く・話すの育成
- 感性を豊かにする体験
 - ・自然を活かした活動
 - ・絵本を通して豊かな心を育てる
 - ・人との関わり
- たくましさ育てる体験
 - ・基本的な生活習慣の確立
 - ・身体を動かす遊びの充実

研究主題

自分で考え、試しながら遊ぶ子を育てる保育の工夫

森之腰幼稚園

住所	〒412-0045 川島田 451-3	3 歳児	男子 13 人 女子 10 人
電話	82-2593	4 歳児	男子 13 人 女子 12 人
園長	大屋 美佐	5 歳児	男子 19 人 女子 23 人
教頭	杉山 奈緒佳	職員数	16 人

園教育目標

心も体も元気な子

重点目標

何でも楽しんでやってみよう

具体策

- 学びを育む
 - ・聞く力、話す力の育成
 - ・主体的な遊びを生み出す環境の工夫
 - ・協同的な遊びの充実
- 豊かな心を育む
 - ・身近な自然環境を生かした遊び
 - ・地域と共に育む
 - ・園内交流の充実
- 心身を育む
 - ・自立できる子を指す
 - ・気力、体力のつく遊びの充実
 - ・家庭との連携

研究主題

心と体を動かし楽しんでやってみる子を育む環境の工夫

竈幼稚園

住所	〒412-0039 竈154-1	3歳児	男子2人 女子1人
電話	83-4144	4歳児	男子5人 女子3人
園長	勝又しのぶ	5歳児	男子5人 女子4人
教頭	—	職員数	7人

園教育目標

瞳きらきら かまどの子

重点目標

心豊かなたくましい子

具体策

○考える子 ～考える力を育む～

- ・継続する遊び
- ・聞く話す力の育成
- ・身近な自然を活かした保育の工夫

○感じる子 ～思いやりを育む～

- ・一人一人のよさを活かす保育の工夫
- ・異年齢交流の工夫
- ・地域のよさを感じる体験

○元気な子 ～たくましさを育む～

- ・身体を動かす遊びの充実
- ・生活習慣の確立
- ・園外保育の充実

研究主題

互いを思いやり、つながりを深める保育の工夫

【小学校】

御殿場小学校

住所	〒412-0042 萩原 361-1	1年	144人 5学級
電話	82-0100	2年	155人 5学級
校長	佐々木 直行	3年	149人 5学級
教頭	柴田 勝好	4年	189人 6学級
県費教職員数	58人	5年	156人 5学級
市費教職員数	11人	6年	165人 5学級
		特別支援学級	26人 5学級

学校教育目標

進んで学び 高め合う 御小の子

重点目標

えがおで伝えよう 自分のこと

学校で生活したり勉強したりすることは楽しいと答える子 95%

経営目標

「御小ならではの教育」を推進する学校

- ①全ての子どもたちの可能性を引き出す学びが実践される学校
- ②温かさや落ち着きの中で、誰一人取り残さない教育が実践される学校
- ③教師自らが自己研鑽に努め、子供とともに体や心に汗をかける学校
話したり相談できたりする先生がいると答える子 90%
授業では自分の意見を友達に伝えていると答える子 80%

経営の重点

教科指導…授業が分かると答える子 95%

- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実 ○ICT機器の効果的活用
- 道徳の授業の充実 ○特別支援教育の推進 ○地域人材等の積極的な活用

教科外指導…自分なりの挨拶をする子 95% 進んで運動する子 90%

- 笑顔あふれる学級学年づくり ○多様な人との協働の充実 ○個に応じた支援の充実
- 人権教育の推進 ○行事、体験の充実 ○情報モラル教育の推進

学校運営

- 笑顔あふれるチーム御小 ○保護者や専門スタッフ、地域との連携 ○「報連相報」の徹底
- 働き方、働きがい改革の推進 ○学年と特別支援を縦軸、4部会を横軸に
- 不祥事0、OJTやYGPの推進

研究分野・教科等

ICTの活用 全教科

研究主題

個で学び、共に学ぶ子の育成 ～ICTの活用を通して～

御殿場南小学校

住所	〒412-0045 川島田 580	1年	110人 3学級
電話	82-0911	2年	126人 4学級
校長	福島 英子	3年	124人 4学級
教頭	瀬戸 武生	4年	119人 4学級
県費教職員数	40人	5年	103人 3学級
市費教職員数	10人	6年	113人 3学級
		特別支援学級	34人 6学級

学校教育目標

共に学び 進んで挑戦 思いやりいっぱい 南っ子

重点目標

磨き合い 高め合う

経営目標

子供が楽しく学び 安心できる学校づくり

経営の重点

- (1) 教育活動全体において、育む資質・能力を明確にした教育課程の展開
- (2) 誰もが大切にされる(主役になれる)温かい人間関係・学級づくり
- (3) 共に学び合う授業の実践
- (4) 共に高め合う教育環境の実践
- (5) 特別支援教育への理解を深める
- (6) 協働する活力ある教職員集団の形成
- (7) 開かれた学校づくりの推進(地域・保護者・外部人材との連携)

研究分野・教科等

学習指導

研究主題

進んで課題を追究し、学びを楽しむ子

富士岡小学校

住所	〒412-0035 中山 161	1年	68人 2学級
電話	87-1006	2年	81人 3学級
校長	新澤 まり	3年	76人 3学級
教頭	杉山 知太朗	4年	91人 3学級
県費教職員数	30人	5年	95人 3学級
市費教職員数	7人	6年	87人 3学級
		特別支援学級	22人 4学級

学校教育目標

共に伸びる子

重点目標

みがく「みんなで がんばる くみあげる」

経営目標

「子どもも大人も主体的に活動する活力ある学校」

①学びをみがく学校 ②生活をみがく学校 ③感性をみがく学校

経営の重点

- 学びをみがく子（授業が楽しい 93%、授業がわかる 95%）
 - 「主体的、対話的で深い学び」を目指し、子供が「わかる」「楽しい」を実感できる授業
 - ・基礎学力の習得 ・自分の考えを伝える ・読書活動の推進 ・ICT機器の活用
- 生活をみがく子（進んで挨拶する 95%、話し合いは楽しい 95%）
 - 人と関わり合いながら自分の人生をたくましく生きる素地を培う。
 - ・学級話し合い活動により課題解決できる学級づくり
 - ・児童会による挨拶運動や「みがく貯金」の取組 ・黙動 ・ボランティア活動（JRC 活動）
- 感性をみがく子（自分の良さがわかる 85%、自分のみがきがわかる 83%）
 - 自分と友達の良さがわかり、互いに尊重し合う。
 - ・「ありがとうの日」の取組 ・「学習」「生活」の定期的な振り返りと自己評価
 - ・自己決定の機会を増やす

研究分野・教科等

学習課題づくり・学級集団づくり(国語)

研究主題

共に学び合い、思いや考えを豊かにする子の育成
 ～子どもが夢中になる課題づくりを通して～

神山小学校

住所	〒412-0033 神山 478-2	1年	27人 学級
電話	87-0030	2年	40人 2学級
校長	長澤 広志	3年	31人 学級
教頭	小出 美和	4年	32人 学級
県費教職員数	14人	5年	33人 学級
市費教職員数	3人	6年	43人 2学級
		特別支援学級	2人 学級

学校教育目標

温かく たくましく 磨き合う 神山の子
(合言葉) -いつも えがおで-

重点目標

自分から進んで行動する

経営目標

子供たちが元気に笑顔で登校し、生き生きと学ぶ学校

経営の重点

- 安心安全で充実した学校づくり
- 学ぶ楽しさを実感できる学校づくり
- 協働し楽しく活動する学校づくり
- ユニバーサルデザインの環境づくり(生活・学習)
- 頼もしい教職員づくり
- 家庭や地域と共に歩む学校づくり

研究分野・教科等

学習指導・国語科

研究主題

自ら考え、思いを伝え合う子の育成
～言語活動や言語感覚の充実を軸として～

原里小学校

住所	〒412-0045 川島田 1902	1年	69人 2学級
電話	89-0458	2年	60人 2学級
校長	鎌野 幸治	3年	79人 3学級
教頭	三井 由香	4年	60人 2学級
県費教職員数	35人	5年	78人 3学級
市費教職員数	5人	6年	73人 3学級
		特別支援学級	15人 3学級

学校教育目標

自分を創る原里の子

重点目標

自分事として 学ぶ・考える・行動する

経営目標

学び合い 伸びを認め合う

経営の重点

- 自分事として学び合う子
 - ・学び合う楽しさを味わう ・温かい聴き方優しい話し方 ・問いを持ち主体的に考える
(授業が分かる…95% 国語の授業が楽しい…85%)
- 良さを認め合う子
 - ・互いの良さに気づき認め合う ・相手を思いやり優しく接する ・感謝の気持ちを持つ
(自分にはよいところがある…85% 先にあいさつ、気持ち良い返事ができる…90%
学校が楽しい…95% ありがとうが言える…95%)
- 心と体を鍛え合う子
 - ・自分なりの目標を持って運動する ・規則正しい生活 ・メディアコントロール
(黙ってそうじをしている…90% 進んで運動をしている…85%)

研究分野・教科等

教育課程(スタートカリキュラム) 国語

研究主題

自ら考えかかわりを深め豊かな学びを創り出す子どもの育成
～読解力を付けるための工夫～

玉穂小学校

住所	〒412-0006 中畑 441	1年	58人 2学級
電話	89-0545	2年	59人 2学級
校長	佐藤 きよ恵	3年	59人 2学級
教頭	武田 望	4年	60人 2学級
県費教職員数	29人	5年	70人 2学級
市費教職員数	7人	6年	76人 3学級
		特別支援学級	25人 4学級

学校教育目標

富士に学ぶ玉穂の子

- ・富士のように、高い目標を持って学習する子
- ・富士の裾野のように、心の広い子
- ・富士のように、たくましい健康な子

重点目標

自分から みんなで

経営目標

「あい」と笑顔があふれる学校

経営の重点

- ①安全安心で楽しい学校
- ②学ぶ楽しさを実感できる学校
- ③地域や家庭とともに歩む学校
- ④一人一人を大切にする特別支援教育の充実

研究分野・教科等

学習指導・算数科

研究主題

「たい」がつながる授業～課題設定と協働的な学びの工夫～

印野小学校

住所	〒412-0008 印野 1710	1 年	8 人 学級
電話	89-2533	2 年	19 人 学級
校長	原田 利志美	3 年	17 人 学級
教頭	中村 達明	4 年	17 人 学級
県費教職員数	12 人	5 年	13 人 学級
市費教職員数	3 人	6 年	22 人 学級
		特別支援学級	1 人 学級

学校教育目標

大地に生きる印野の子

重点目標

トライ&チャレンジ

- 学び合い新しいことにトライ&チャレンジする
- 人とかかわりを深めるためにトライ&チャレンジする
- 汗して自分の限界にトライ&チャレンジする

経営目標

わくわくする学校づくり

経営の重点

- 学び合い新しいことにトライ&チャレンジする
 - 子どもが主役の授業改善 ○読書習慣の充実
 - 表現力の育成を図る活動の推進
 - ・授業がわかる 90% ・進んで読書をする 80%
- 人とかかわりを深めるためにトライ&チャレンジする
 - 地域をも元気にするあいさつ ○縦割り班活動の充実
 - 地域に積極的にかかわる行事・活動・学習
 - ・元気なあいさつができる 95% ・自分にはよいところがある 80%
- 汗して自分の限界にトライ&チャレンジする
 - 自己決定をする場の設定 ○励ましあいながら運動に親しむ態度の育成
 - 組織として機能する生徒指導の確立
 - ・自分のめあてに挑戦し、やりぬく 90% ・毎朝、朝食を食べる 100%

研究分野・教科等

学習指導（生活科、総合的な学習の時間）

研究主題

すすんで考え、ともに学び合う子

高根小学校

住所	(本校) 〒412-0017 塚原 38-5 (分校) 〒412-0002 上小林 730-1	1 年	(本校) 35 人 学級 (分校) 13 人 学級
電話	(本校) 82-1003 (分校) 89-3632	2 年	(本校) 28 人 学級 (分校) 4 人 学級
校長	秋岡 智子	3 年	44 人 2 学級
教頭	藁科 泰裕	4 年	44 人 2 学級
県費教職員数	20 人	5 年	34 人 学級
市費教職員数	4 人	6 年	49 人 2 学級
		特別支援学級	2 人 学級

学校教育目標

よい子 学ぶ子 じょうぶな子

重点目標

超える

経営目標

気づき、考え、自ら行動する子

- (1) あいさつと思いやりあふれる学校づくり (よい子)
- (2) 共に学び合う授業づくり (学ぶ子)
- (3) めあてに向かって最後までやりぬく子の育成 (じょうぶな子)

経営の重点

(1) あいさつと思いやり

- 気持ちのよいあいさつをする。(95%)
- 自分にはよいところがある。(85%)
- 友達のよいところを見つける。(95%)
- 課題を発見し、解決する。(80%)

(2) 共に学び合う

- 授業がよくわかる。(85%)
- 計画を立てて学習している。(80%)
- 友達の意見とつなげる。(85%)
- 読書に親しむ。(85%)

(3) めあてに向かって最後までやり抜く

- 基本的な生活習慣が定着している。(80%)
- めあてを持って運動する。(90%)
- 課題を発見し、解決する。(80%)

(4) 教職員の信条

- ・学び続ける ・深い子ども理解
- ・タイムマネジメント

(5) 高根小・中学校コミュニティ・スクールへの移行

- 「よさを認め合い よりよいものをめざす 高根っ子」の育成

研究分野・教科等

コミュニティ・スクール(CS)御殿場市指定研究(令和4・5年度) 保小中連携一貫教育

研究主題

友達との対話を通して、自分の思いや考えを深めることができる子の育成

朝日小学校

住所	〒412-0045 川島田 84-1	1年	53人 2学級
電話	84-0188	2年	65人 2学級
校長	土屋 貴夫	3年	57人 2学級
教頭	勝又 明美	4年	51人 2学級
県費教職員数	24人	5年	63人 2学級
市費教職員数	4人	6年	55人 2学級
		特別支援学級	3人 1学級

学校教育目標

あさひの花を咲かせよう

重点目標

よさをいかそう

経営目標

「心のふるさと朝日」づくり

経営の重点

- ◇笑顔で生活、元気な子「あさがお生活」
 - ・楽しい学校づくり ・心を込めて挨拶をする指導 ・体を動かして元気よく遊ぶ指導
 - ・健康な体を作る、確実な感染症対策の実施
- ◇自他を大切にする子「さくら仲間」
 - ・人権教育の推進 ・お互いを認め合う(よさをみつける)温かい集団づくり
 - ・いじめや差別は絶対に許さない態度と指導 ・子供が協力して取り組む特別活動や体験活動の実施
 - ・黙って一生懸命掃除をする指導(黙働清掃)
- ◇学びを楽しむ子「ひまわり学習」
 - ・楽しい授業づくり ・学びの実感のある授業づくり ・考えを伝えたい場の設定
 - ・図書館利用の奨励による読書の習慣化 ・本に親しむ、読み聞かせ活動の実施
- ◇その他
 - *特別支援教育を土台に
 - *開かれた学校づくり
 - *活力ある朝日小学校であるためには、まずは、教職員から…主体性・同僚生
 - *保幼小中一貫教育研究の推進

研究分野・教科等

全教科

研究主題

学びを楽しむ子

東小学校

住所	〒412-0027 西田中 310	1年	47人 2学級
電話	83-0415	2年	48人 2学級
校長	杉山 道博	3年	48人 2学級
教頭	平松 祐	4年	49人 2学級
県費教職員数	22人	5年	48人 2学級
市費教職員数	5人	6年	54人 2学級
		特別支援学級	23人 3学級

学校教育目標

人にやさしく ものにやさしく 自分を大切に

重点目標

笑顔いっぱい ありがとういっぱい

経営目標

人として自律する ～主体的な姿が育つ学校・学年経営・授業づくりを進める～

経営の重点

- 陽光 … 安心 : 子供が安心して学べる環境づくり
- 虹 … 多様 : 自分のよさ、人のよさに気づき、認め合う関わりづくり
- 大地 … チーム: 家庭・地域・学校が学校経営方針を共有し、地域の一員として子供が育つ基盤づくり
- ☆『**子供を主語**』にものごとをみとる…その子はどうか受け止めているのか。その子はどうか考えているのか。
その子はどうかしたいと考えているのか。
- ☆『**なぜ**』をみとる…なぜ、そのように行動するのか。なぜそう言うのか。その子にとっての行動の原動力になる思いを受け止める。
- ☆『**やり直し**』を保証する…失敗したことを成長につなげる、そのためのやり直しを大切にする。『叱られる』『謝る』が解決ではない。
- ☆『**普通**』って何?を問い続ける…普通とはマジョリティ(多数派)?普通とは既成の概念?普通とは平均?普通とは当たり前?
- ☆『**今まで通り**』の発想を一旦置いてみる…変わる・変えることは大切。

研究分野・教科等

学習評価

研究主題

主体的に学習に取り組む子供が育つ授業づくり

【中学校】

御殿場中学校

住所	〒412-0042 萩原 364	1年	221人 7学級
電話	82-0356	2年	233人 7学級
校長	勝俣 純	3年	191人 6学級
教頭	持田 晃寿	特別支援学級	15人 2学級
県費教職員数	50人	市費教職員数	11人

学校教育目標

志をもち 心豊かで たくましい 御中生

重点目標

目指す生徒像 「凛とした御中生」

経営目標

だれ一人取り残さないために

主役は『みんな』

- 社会の変化に対応できる学びを続ける御中生
- 周囲の人の存在、人権意識をもって生活できる御中生
- デジタル化社会で生きていく御中生
- 友達・家族・先生を信頼し、協働して生活する御中生
- 地域や家庭、学校の中で育っている御中生

経営の重点

○体験・ふれあい活動の充実（インクルーシブな協働活動）

- ・すべての人に「ウェルビーイング」を実現する
- ・人と人との垣根のない触れ合い
- ・誰に対しても冷静で丁寧な言葉遣い
- ・学校施設のバリアフリーを推進
- ・地域や行政方との連携や相互支援体制の構築を図る

○ICT活用等教職員研修の充実（個別最適な学びのデザイン）

- ・一人一台タブレットを文房具の延長という発想から、教育DXを進める一つのアイテムとして有効活用を進める
- ・「令和の日本型教育」の推進
- ・ICT担当教員及びICT支援員等の綿密な連携

○安心・安全・公正な学びの場づくり（公正な個別最適化）

- ・授業改善を中心に据えた「居心地のよい学校づくり」
- ・地域とともにある学校づくり
- ・『公正な個別最適化』を意識した指導体制
- ・自分の思いや考えを安心して表現できる学習集団作り
- ・生徒一人一人に寄り添った生徒理解を基盤とした学習支援
- ・生徒一人一人の、学習課題に取り組む主体的な態度の育成を目的とした「eたいむ」の実施

研究分野・教科等

学習指導 全教科

研究主題

「みんなが主体的に学ぶ授業づくり」

富士岡中学校

住所	〒412-0035 中山 825-1	1年	134人 4学級
電話	87-1122	2年	172人 5学級
校長	本田 章	3年	181人 6学級
教頭	伊藤 賢一	特別支援学級	18人 4学級
県費教職員数	33人	市費教職員数	7人

学校教育目標

心豊かで活力のある生徒の育成

重点目標

地域とともにある学校づくり

経営目標

- (1) 自らの課題を、自ら解決する生徒
- (2) お互いの良さを認め合い、誰とも助け合える生徒
- (3) たくましい心と体をつくる生徒

経営の重点

- (1) 確かな学びづくり
 - ・深い学びを生む問題解決学習による授業改善の推進
 - ・探究意欲を高める効果的な ICT の活用
 - ・個別最適な学びの推進(個別指導・個別学習)と協働学習による深い学び
 - ・健全な職業観を育むキャリア教育の充実
- (2) 豊かな感性づくり
 - ・富士岡中5アクション(時間・挨拶・返事・清掃・歌声)の推進
 - ・考え、議論する特別の教科道德の充実
 - ・自治的な能力を高め、自己肯定感を高める係活動
 - ・地域行事への積極的な参加
- (3) 健やかな心身づくり
 - ・チーム富士岡、生徒、保護者、地域、学校の連携による生徒の健全育成活動の推進
 - ・規則正しい生活習慣の推進活動(ネット問題、いじめ問題)
 - ・心を磨く黙働清掃の推進
 - ・たくましさを育む部活動の充実

研究分野・教科等

- ・地域とともにある学校づくり(コミュニティスクール)
- ・問題解決型の授業づくり、ICTの活用

研究主題

生徒の主体的で深い学びを生み出す、しかけの探究
 ~3つのしかけとICTを活用した問題解決学習を通して~

原里中学校

住所	〒412-0045 川島田 1363-1	1年	107人 4学級
電話	89-0338	2年	121人 4学級
校長	勝村 由加利	3年	138人 4学級
教頭	勝又 真智	特別支援学級	14人 3学級
県費教職員数	28人	市費教職員数	5人

学校教育目標

たくましく 心やさしい 原里中学生

重点目標

目指す生徒像「自分の目標に向かい 対話をつなぎ 進んで行動する生徒」

経営目標

自ら学び合い高め合う、「魅力ある」学校づくり

経営の重点

キーワード つながる

①対話を通して学び合う

相手と共感しつながることで、より自分の考えを深めることができる。

②相手意識・仲間意識を高める

仲間と関わり、共に活動できる喜びを感じることができる。

③自分みがきに進んで取り組む

自分の良さを見付け、自分の目標に向かって進んで行動することができる。

研究分野・教科等

学習指導(学習評価)

研究主題

生徒一人ひとりの学びが深まる授業

～形式的評価を生かして生徒の思いや学びをつなげる授業づくり～

西中学校

住所	〒412-0006 中畑 662-2	1年	92人 3学級
電話	89-0543	2年	88人 3学級
校長	小林 徹	3年	103人 3学級
教頭	藤井 貴英	特別支援学級	3人 2学級
県費教職員数	20人	市費教職員数	5人

学校教育目標

気力の充実と品性の向上

重点目標

よさを発揮し、よさを認め合う生徒

経営の目標

- 1 主体的・協働的に学ぶ力を育てる
- 2 真心を持って相手意識を高め、豊かな人間性を育む
- 3 健やかな心身と絆を育み、安心安全な居場所をつくる

経営の重点

・授業の充実

主体的・対話的で深い学びのある授業を実践し、授業力の向上を努めながら、生きて働く知を追究し、学ぶ意義を実感する授業を構築する。

・道徳教育と一貫研修、キャリア教育の推進

「心やさしく たくましい子の育成」に向け、相手意識と仲間意識を高める特別活動や道徳科授業、健やかな心身と絆を育む積極的な生徒指導を実践する。教育活動全体で「基礎的・汎用的能力」の育成を図る。

・合言葉「笑顔、幸せ、相手意識」

教職員が自身の幸せを追求することで、それに連動する子どもたちの幸福感を高め、笑顔あふれる学校を創る。

研究主題

学習指導（授業改善・学力向上）

研究主題

楽しい授業

～主体的・協働的な学びとICT活用を通して～

高根中学校

住所	〒412-0017 塚原 4-1	1 年	30 人 2 学級
電話	82-1029	2 年	38 人 2 学級
校長	丹澤 謹志	3 年	37 人 2 学級
教頭	中西 直子	特別支援学級	—
県費教職員数	13 人	市費教職員数	5 人

学校教育目標

感受豊かに 学びを深め 未来を拓く

重点目標

自分のよさ(徳)に気付き、自信を持って発信し、周囲をよりよい状態に変えていく

経営目標

- 【豊かな体験】認め合う心
- 【確かな学び】主体的な学び
- 【健やかな心身】たくましい心身

経営の重点

- 生徒に育成したい資質・能力【忍耐力・調整力・突破力】(令和5年度のキーワード)
 【コミュニティ・スクールの推進により地域と共に歩む学校】を目指す
- (1) 地域とビジョンを共有し、個別最適な学びと協働的な学びを推進する学校
 授業改善、ICT活用、地域人材の積極的な活用
 - (2) 生徒や職員の安全・安心が確立された、居心地のよい学校
 事故防止の徹底(SNSに関する事前指導)、生徒理解力、自己肯定感や所属感を高める場の設定
 - (3) 内部組織の強化と外部組織(人材や機関)の連携により、業務の合理化を進める学校
 教職員の日頃のコミュニケーション力、連携・報告
 - (4) 異なる立場や職種を尊重し、自らの自己研鑽に努める職員
 不祥事ゼロ、自己研鑽(主に生徒指導・授業改善)

研究分野・教科等

授業改善(深い学びを生み出す手立ての工夫)、コミュニティ・スクール事業の研究指定

研究主題

深い学びを追究し、自らの考えを発信できる生徒の育成

南中学校

住所	〒412-0042 萩原 1327	1年	123人 4学級
電話	83-8434	2年	124人 4学級
校長	横溝 千都生	3年	142人 5学級
教頭	清水 達夫	特別支援学級	16人 3学級
県費教職員数	29人	市費教職員数	6人

学校教育目標

しなやかでたくましく、心豊かな南中生

重点目標・経営目標

- (1) 確かな学びづくり 主体的に学ぶ南中生
『学習エンジン』のはたらく、魅力ある授業実践ができる教師
- (2) 豊かな感性づくり 人を思いやる南中生
愛情と使命感に溢れ、人間性豊かな教師
- (3) 健やかな心身づくり 健やかでたくましい南中生
生徒の良さを認め、共に伸びる教師

経営の重点

- (1) 確かな学びづくり
 - ・発問、学びの場、教材を意識した授業の構築
 - ・授業改善に向けた参加型教員研修の推進
 - ・確かな学力の育成に向けた振り返りと家庭学習の実践
- (2) 豊かな感性づくり
 - ・SDGs への計画的な取組と実践
 - ・考え、議論する道徳授業の実践
 - ・生徒主体のけやき祭と委員会活動
 - ・キャリア教育、体験活動の充実
- (3) 健やかな心身づくり
 - ・声の届くあいさつと黙働創自の実践
 - ・いじめの防止と発生時の適切な対応
 - ・関わり合いによるレジリエンスの醸成
 - ・自他の命を守る防災・安全教育の推進

研究分野・教科等

- ・学習エンジンモデルにおける三つの要素「学びの場」「発問」「教材・教具」
- ・気づきを促す「対話」
- ・子供の学習と発達を推進する「形成的アセスメント」
- ・自らの学びを調整するための「メタ認知」

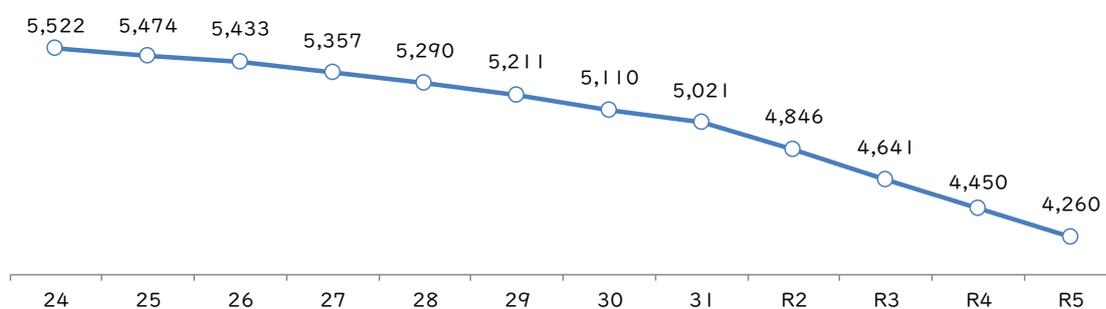
研究主題

主体的に学習に取り組む生徒を育成するための指導方法の研究
～学習エンジンを基にした授業改善を通して～

⑤ 児童・生徒・園児数の推移

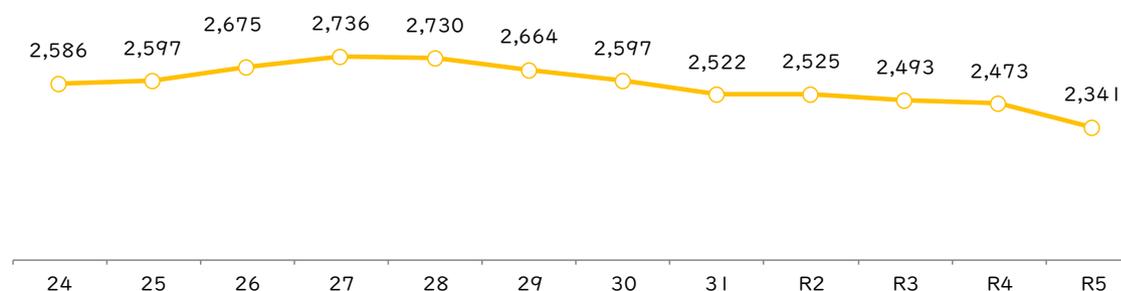
【小学校】

校名\年度	24	25	26	27	28	29	30	31	R2	R3	R4	R5
御殿場	923	954	938	926	961	987	1031	1042	1070	1082	1034	984
御殿場南	887	832	862	856	825	818	801	802	740	716	705	695
富士岡	555	570	564	582	605	603	580	570	574	565	533	518
神山	679	628	580	544	524	478	401	359	323	264	236	208
原里	732	723	699	662	634	587	588	556	516	473	449	434
玉穂	513	499	495	519	497	517	508	513	500	457	440	407
印野	127	126	132	134	130	123	126	120	110	103	110	97
高根	231	236	248	258	253	248	246	231	235	233	225	236
分校	23	23	17	13	20	15	10	14	13	11	10	17
朝日	457	468	461	431	417	409	413	415	411	395	380	347
東	395	415	437	432	424	426	406	399	354	342	328	317
合計	5,522	5,474	5,433	5,357	5,290	5,211	5,110	5,021	4,846	4,641	4,450	4,260



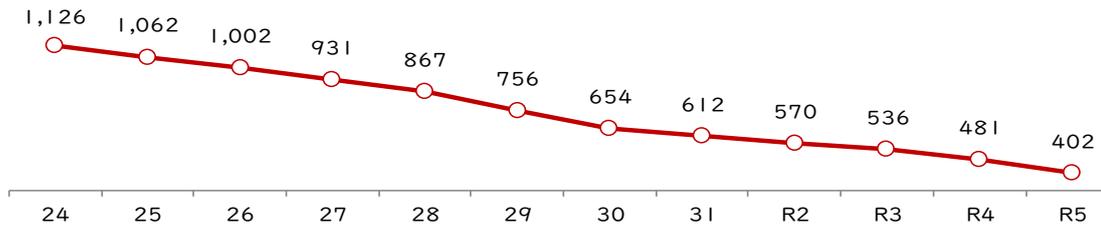
【中学校】

校名\年度	24	25	26	27	28	29	30	31	R2	R3	R4	R5
御殿場	658	627	639	624	662	643	632	624	676	665	692	660
富士岡	651	676	679	707	656	648	641	648	598	551	533	505
原里	395	407	466	508	515	506	457	436	406	417	399	380
西	285	282	305	291	287	267	278	264	281	301	295	286
高根	119	119	120	126	125	130	134	137	132	128	118	105
南	478	486	466	480	485	470	455	413	432	431	436	405
合計	2,586	2,597	2,675	2,736	2,730	2,664	2,597	2,522	2,525	2,493	2,473	2,341



【幼稚園】

園名\年度	24	25	26	27	28	29	30	31	R2	R3	R4	R5
御殿場	311	292	299	282	278	251	229	224	195	184	173	150
原里	182	177	145	119	106	77	74	71	68	63	52	47
原里西	50	44	43	53	41	36	26	26	23	18	9	-
玉穂	174	167	159	146	154	137	111	89	81	66	66	53
富士岡	137	125	118	120	98	84	61	53	52	55	54	42
森之腰	121	119	106	106	109	110	106	99	120	128	107	90
竈	55	53	57	49	37	34	34	40	31	22	20	20
神山	96	85	75	56	44	27	13	10	-	-	-	-
合計	1,126	1,062	1,002	931	867	756	654	612	570	536	481	402



⑥ 中学校卒業者の進路状況

【年度別卒業生進路状況一覧】

年度\区分	進学者						就職者 (その他含む)			卒業生総数		
	高等学校進学者			専修学校等進学者			男	女	計	男	女	計
	男	女	計	男	女	計						
22	393	391	784	0	0	0	8	5	13	401	396	866
23	443	397	840	1	0	1	3	11	14	447	408	797
24	436	407	843	1	1	2	6	3	9	443	411	855
25	440	390	830	1	0	1	6	4	10	447	394	854
26	437	421	858	0	1	1	11	2	13	448	424	841
27	455	414	869	0	0	0	7	4	11	462	418	872
28	467	449	916	0	1	1	1	4	5	468	454	880
29	469	433	902	0	0	0	1	8	9	470	441	922
30	484	397	881	3	0	3	1	4	5	488	401	911
31	462	388	850	0	1	1	5	4	9	467	393	860
R2	440	385	825	0	0	0	4	4	8	444	389	833
R3	402	397	799	0	2	2	6	2	8	408	401	809
R4	445	402	847	2	1	3	4	1	5	451	404	855

【令和4年度学校別卒業生進路状況一覧】

	高等学校進学者			専修学校等進学者			就職者(その他含む)			卒業生総数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
御殿場	143	104	247	0	1	1	2	0	2	145	105	250
富士岡	93	74	167	0	0	0	1	0	1	94	74	168
原里	64	68	132	0	0	0	0	0	0	64	68	132
西	52	51	103	0	0	0	0	0	0	52	51	103
高根	17	23	40	0	0	0	1	0	1	18	23	41
南	76	82	158	2	0	2	0	1	1	78	83	161
計	445	402	847	2	1	3	4	1	5	451	404	855

【令和4年度学校別卒業生進路状況一覧】

学校\区分	県公立高校等		県内私立高校		高専		県外高校等		進学者総数		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
御殿場	90	52	44	49	2	2	7	1	143	104	247
富士岡	42	34	32	34	0	3	19	3	93	74	167
原里	34	40	22	23	3	0	5	5	64	68	132
西	26	30	22	16	1	1	3	4	52	51	103
高根	6	14	9	7	1	0	1	2	17	23	40
南	38	48	36	31	1	1	1	2	76	82	158
計	236	218	165	160	8	7	36	17	445	402	847

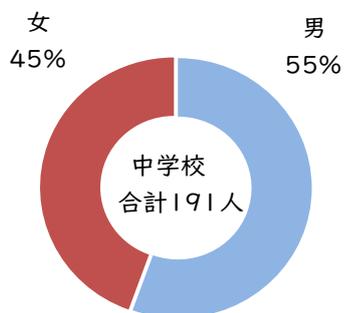
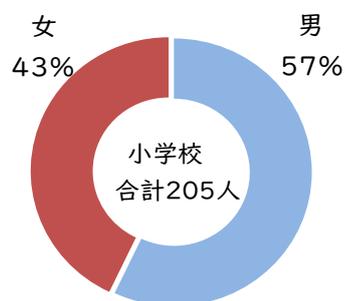
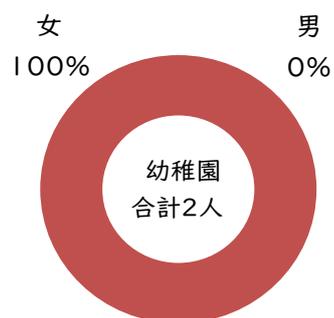
⑦ 日本スポーツ振興センター

【令和4年度 月別災害発生状況】

校種\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
幼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
小	12	11	30	12	3	26	24	21	18	21	13	14	205
中	15	19	30	14	5	29	21	16	11	14	5	12	191

【令和4年度 性別・学年別災害発生状況】

校種	学年	男	女	計
幼稚園	3歳	0	0	0
	4歳	0	0	0
	5歳	0	1	1
	6歳	0	1	1
	計	0	2	2
小学校	1年	17	13	30
	2年	20	13	33
	3年	18	23	41
	4年	11	7	18
	5年	31	16	47
	6年	20	16	36
	計	117	88	205
中学校	1年	37	23	60
	2年	47	34	81
	3年	22	28	50
	計	106	85	191
合計	223	175	398	



⑧ 育英奨学金

【育英奨学金貸与返還状況】

年度\区分	貸与金額 決算(円)	当該年度新規採用者			当該年度奨学生数			返還状況	
		高校	専修	大学	高校	専修	大学	人員	金額(円)
25	15,768,000	1	-	14	2	-	44	61	11,967,200
26	18,576,000	2	-	16	4	-	50	67	9,563,400
27	17,712,000	0	1	14	3	1	47	69	16,872,800
28	19,098,000	0	2	10	2	3	50	73	12,267,600
29	14,460,000	0	1	5	0	4	37	80	14,212,200
30	11,520,000	0	1	8	0	3	29	89	14,377,700
31	8,604,000	0	1	5	1	1	23	101	16,065,000
R2	7,344,000	0	1	4	1	2	18	89	15,617,100
R3	6,840,000	0	1	5	0	2	17	98	12,571,300
R4	5,760,000	0	0	4	0	1	15	93	11,581,600

※専修学校は平成27年度より貸与対象となった

⑨ 就学援助及び特別支援教育就学奨励費

経済的理由により就学困難な児童・生徒の保護者に対して、学用品等の購入に要する経費の一部を援助費として支給している。また、特別支援学級への就学の特殊事情を鑑み、その就学に係る保護者の経済的負担を軽減し、さらに特別支援教育の振興に努めている。

【令和4年支給額】

種別	小学校		中学校		合計	
	人員(人)	金額(円)	人員(人)	金額(円)	人員(人)	金額(円)
要保護及び準要保護支給実績	234	20,027,231	171	17,917,743	424	37,944,974
特別支援教育就学奨励費支給実績	148	3,959,193	45	2,140,242	193	6,099,435

【就学援助受給者数の推移】

	29年度	30年度	31年度	02年度	03年度	04年度
小学校(人)	262	246	265	251	243	234
割合(全校児童中)	5.1%	4.8%	5.2%	5.2%	5.2%	5.3%
中学校(人)	175	172	158	176	181	171
割合(全校生徒中)	6.7%	6.6%	6.2%	7.1%	7.3%	6.9%
合計(人)	437	418	423	427	424	405
割合	5.7%	5.4%	5.6%	5.6%	6.1%	5.9%

⑩ 小・中学校の入学状況

年度	小学校入学者						中学校入学者					
	市内公立入学者数			私立入学者数			市内公立入学者数			私立入学者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
25	451	454	905	0	0	0	467	418	885	4	8	12
26	466	469	935	2	0	2	468	461	929	4	13	17
27	462	447	909	2	2	4	475	446	921	12	10	22
28	434	437	871	1	3	4	495	406	901	11	11	22
29	419	419	838	1	4	5	464	397	861	5	12	17
30	429	396	825	3	2	5	456	388	844	11	12	23
31	416	367	783	2	4	6	412	408	820	5	13	18
R2	374	406	780	2	3	5	455	415	870	9	12	21
R3	352	371	723	1	2	3	428	396	824	11	17	28
R4	364	354	718	1	0	1	402	401	803	13	6	19
R5	329	318	647	4	7	11	367	374	741	15	10	25

⑪ 施設の整備状況

【小学校】

学校名	建物面積 (㎡)							校地面積 (㎡)			教室数			プール
	校舎			屋内運動場			合計	運動場	校舎敷地 その他	合計	普通 教室	特別 教室	合計	
	木造	非木造	計	木造	非木造	計								
御殿場	0	8,778	8,778	0	(1,386)	(1,386)	(1,386) 8,778	15,238	8,863	24,101	36	18	54	25m×15m ※15m×10m
東	89	5,350	5,439	0	1,724	1,724	7,163	11,773	11,732	23,505	15	9	24	25m×13m ※10m×5.5m
御殿場南	16	6,573	6,589	0	1,089	1,089	7,678	10,246	11,526	21,772	27	13	40	25m×15m ※10m×6m
富士岡	101	5,785	5,886	0	938	938	6,824	10,329	8,961	19,290	21	9	30	25m×15m ※15m×10m
神山	40	4,433	4,473	0	(905)	(905)	(905) 4,473	9,662	7,343	17,005	9	14	23	25m×13m ※10m×6m
原里	50	8,057	8,107	0	1,346	1,346	9,453	11,185	13,088	24,273	18	20	38	25m×15m ※10m×6m
朝日	0	5,669	5,669	0	1,024	1,024	6,693	13,554	16,685	30,239	13	15	28	25m×13m ※10m×10m
玉穂	10	5,997	6,007	0	(1,922)	(1,922)	(1,922) 6,007	17,325	16,211	33,536	17	12	29	—
印野	0	4,498	4,498	0	(1,415)	(1,415)	(1,415) 4,498	8,216	10,639	18,855	7	10	17	25m×13m ※8m×5m
高根	0	4,916	4,916	0	1,345	1,345	6,261	11,676	9,763	21,439	10	10	20	25m×13m ※10m×10m
上小林 分校	0	375	375	0	0	0	375	1,871	1,088	2,959	2	1	3	※10m×4m
計	306	60,431	60,737	() 0	(5,628) 7,466	(5,628) 7,466	(5,628) 68,203	121,075	115,899	236,974	175	131	306	

【中学校】

学校名	建物面積 (㎡)							校地面積 (㎡)			教室数			プール	
	校舎			屋内運動場			格技室	合計	運動場	校舎敷地 その他	合計	普通 教室	特別 教室		合計
	木造	非木造	計	木造	非木造	計									
御殿場	33	6,478	6,511	0	2,187	2,187	356	9,054	17,607	11,400	29,007	22	20	42	—
南	0	5,276	5,276	0	2,260	2,260	231	7,767	15,809	13,904	29,713	16	17	33	—
富士岡	0	5,348	5,348	0	1,441	1,441	312	7,101	13,068	13,546	26,614	17	12	29	—
原里	56	5,257	5,313	0	1,798	1,798	342	7,453	12,517	20,550	33,067	15	13	28	—
西	65	6,712	6,777	0	2,081	2,081	203	9,061	14,935	22,953	37,888	11	16	27	—
高根	0	4,222	4,222	0	(1,726)	(1,726)	170	(1,726) 4,392	14,043	11,695	25,738	5	14	19	—
計	154	33,293	33,447	0	(1,726) 9,767	(1,726) 9,767	1,614	(1,726) 44,828	87,979	94,048	182,027	86	92	178	—

注) () は地区体育館

【幼稚園】

園名	建物面積 (㎡)						合計	園地面積 (㎡)			保育室数			プール
	園舎			屋内運動場				園庭	園舎敷地 その他	合計	保育室	遊戯室	合計	
	木造	非木造	計	木造	非木造	計								
御殿場	26	1,487	1,513	—	—	—	1,513	3,037	2,043	5,080	10	1	11	—
富士岡	20	813	833	—	—	—	833	1,639	2,655	4,294	6	1	7	—
電	142	319	461	—	—	—	461	1,681	1,236	2,917	3	1	4	—
原里	23	852	875	—	—	—	875	2,883	4,449	7,332	6	1	7	—
玉穂	0	860	860	—	—	—	860	2,747	4,337	7,084	6	1	7	—
森之腰	0	1,016	1,016	—	—	—	1,016	2,548	1,367	3,915	6	1	7	—
計	211	5,347	5,558	—	—	—	5,558	14,535	16,087	30,622	37	6	43	—

2 所管外学校等

【幼稚園】

園名	創立年月	所在地	電話	理事長 園長氏名	園児数(人)			教員数 (人)
					男	女	計	
聖マリア 幼稚園	昭和 35 年 4 月	御殿場市新橋 1591 番地	84-1215	梅村 昌弘 池島 真季	31	46	77	8
みなみ 幼稚園	昭和 49 年 4 月	御殿場市萩原 1193 番地の 13	83-5373	山崎 弘樹	107	105	212	17

令和 5 年度学校基本調査より

【特別支援学校】

学校名	創立年月	所在地	電話	校長名	園児数(人)			教員数 (人)	職員数 (人)	
					男	女	計			
静岡県立 御殿場特別 支援学校	平成 12 年 4 月	御殿場市神山 1553 番地の 3	87-8200	伊藤 聖子	小	49	23	72	100	5
					中	30	12	42		
					高	45	34	79		
					計	124	69	193		

令和 5 年 5 月 1 日現在

【高等学校】

学校名	創立年月	所在地	電話	校長名	学科	園児数(人)			教員数 (人)	職員数 (人)
						男	女	計		
静岡県立 御殿場 高等学校	明治 35 年 4 月 1 日	御殿場市 御殿場 192 番地の 1	82- 0111	西川 勝啓	創造工学科 創造ビジネス科 生活創造 デザイン科	214	161	375	53	9
静岡県立 御殿場南 高等学校	昭和 38 年 4 月 1 日	御殿場市 新橋 1450 番地	82- 1272	三枝 美保子	普通科	262	193	455	31	8
学校法人 東駿学園 御殿場西 高等学校	昭和 42 年 4 月 1 日	御殿場市 茱萸沢 644 番地の 1	89- 2466	勝間田 貴宏	普通科	495	318	813	67	9

令和 5 年 5 月 1 日現在

【各種学校】

学校名	創立年月	所在地	電話	理事長 園長氏名	園児数(人)			教員数 (人)
					男	女	計	
御殿場看護学校	平成 17 年 4 月	御殿場市 川島田 198 番地の 3	84-5200	齋藤 昌一	20	67	87	10

令和 5 年度学校基本調査より

学校給食

Ⅰ 学校給食

① 主要事業

望ましい日常の 食生活習慣の育成

- ・児童生徒の成長に合わせたメニューの研究と開発、
地場産品の利用促進
- ・食育の充実
- ・学校給食費助成事業
- ・『給食だより』の発行
- ・『給食献立表』『給食おすすめレシピ』の市ホームページへの掲載
- ・試食の機会提供

学校給食設備の 充実と合理的な運営

- ・センター等の施設整備事業
- ・衛生管理対策事業
- ・学校給食センター運営委員会の開催
- ・給食費の収納率の向上

衛生思想の普及と 作業安全の確立

- ・衛生講習会の開催
- ・物資納入業者の選定と検収の徹底
- ・作業の安全指導と事故防止の徹底

ごみ減量化対策

- ・学校給食から発生する残菜等リサイクルの推進

② 学校給食配食校変遷一覧表

年 月	西学校給食センター (第一学校給食センター)	第二学校給食センター	第三学校給食センター	南学校給食センター	高根学校給食センター	単 独 校
30~39						原里小 33年 御殿場南小 35年 御殿場小 30年 玉穂小 34年 富士岡小 31年 神山小 32年 高根小 39年 高根中 39年 印野小 34年 9校 (原里小、御殿場南小→第一へ) 7校
S45年11月	原里小(新) 御殿場南小(新) 養護学校(新)3校					
S46年4月	御殿場中(新) 原里中(新)5校					
S52年4月	南中(新) 6校					
S53年4月	上小林分校(新) 7校					
S54年10月	(御殿場中、御殿場南小、南中→第二へ)	御殿場南小 南中 御殿場中 御殿場小(新)4校				(御殿場小→第二へ) 6校
S55年5月	玉穂小(新) 西中(新) 富士岡中(新)7校					(玉穂小→第一へ) 5校
S56年4月	上小林分校 6校					上小林分校 (→高根小へ併設)
S58年3月	朝日小(新)6校 (富士岡中→第二へ)	富士岡中 5校 (富士岡中→第三へ)				
S61年4月			富士岡小(新) 神山小(新) 富士岡中 3校			(富士岡小、神山小→第三へ) 3校
S62年4月	(養護学校→第三へ)		養護学校 4校			
H 2年9月	改築竣工稼働					
H 3年4月	南中 6校	(南中→第一へ) 東小(新)4校				
H 6年4月		高根小(新) 高根中(新) 上小林分校(新)7校				(高根小、高根中、上小林分校→第二へ) 単独校 1校
H 7年4月		(高根小、高根中、上小林分校→高根へ)			高根小 上小林分校 高根中 3校	
H 8年4月	印野小(新)7校					(印野小→第一へ) 単独校 0校
H12年4月			(養護学校→県立へ)			
H22年8月	原里小 玉穂小 朝日小 印野小 原里中 西中 南中 7校	御殿場小 御殿場南小 東小 御殿場中 4校 H22年8月31日廃止	富士岡小 神山小 富士岡中 3校 H22年8月31日廃止			
H22年9月~	御殿場小 原里小 玉穂小 印野小 原里中 西中 6校			御殿場南小 東小 富士岡小 神山小 朝日小 御殿場中 南中 富士岡中 8校	高根小 上小林分校 高根中 3校	

※ 平成22年9月1日から南学校給食センターの稼働に伴い、第1学校給食センターを西学校給食センターに名称変更

③ 施設の概要

(1) 西学校給食センター(令和5年4月1日現在)

所在地	御殿場市川島田1910番地の9	
敷地	4,530.32 m ²	
建物面積	1,609.07 m ²	管理・調理棟 1,515.57 m ² ポンプ、ブローア、プロパン庫 35.00 m ² 倉庫 58.50 m ²
構造	鉄骨造一部2階建(地下ピット鉄筋コンクリート造)	
工期	着工	平成元年8月5日
	竣工	平成2年6月9日
建設費	建築工事費	305,910千円
	厨房設備費	258,530千円
	その他	59,214千円
	計	623,654千円
給食開始	平成2年9月4日	
調理能力	4,500食	
配食校	6校(小学校4、中学校2)	86学級
給食対象 児童・生徒人数	2,588人	
職員数	25人	所長1、県栄養士2、主幹(給食統括)1、調理職員9、調理パート会計年度任用職員12
配送の状況	方法	コンテナ(1コンテナ6学級分)
	配送車	3台(委託)…1台は高根センターと兼務
	配送時間	午前9時45分から午前11時30分まで
	回収時間	午後0時50分から午後2時30分まで
厨房設備	蒸気ボイラー2,000kg/h 2台	冷蔵庫 3台
	蒸気回転釜 480ℓ 4台	貯湯槽 3,000ℓ 1台
	トラックイン式食缶消毒保管庫 3台	ガス回転釜 150ℓ 3台
	球根皮むき機 1台	器具消毒保管庫 10台
	連続式揚物機 1台	真空冷却機 2台
	スチームコンベクション 2台	さいの目切機 1台
	フードスライサー 2台	高速ミキサー 3台
	食缶洗浄機 1台	食器洗浄機 1台
	コンテナ洗浄機 1台	スプーン洗浄機 1台
	果物洗浄機 1台	コンテナ保管庫
	コンテナ 28台	冷凍庫 3台
	冷蔵室 1室	包丁まな板殺菌保管庫 4台
	特性	学校給食法に基づいた指導、集中管理により施設整備の近代化、労務、衛生、栄養調理技術の向上に努め、諸経費節約、合理化の推進を図る。

(2)南学校給食センター(令和5年4月1日現在)

所在地	御殿場市竈 534 番地の 1		
敷地	7,388.08 m ²		
建物面積	管理・調理棟 1 階 1,962.05 m ²		
	管理・調理棟 2 階 457.26 m ²		
	駐輪場 8.82 m ²		
	ゴミ置き場 3.35 m ²		
構造	鉄骨造 2 階建		
工期	着工	平成 21 年 9 月 1 日	
	竣工	平成 22 年 6 月 30 日	
建設費	PFI	事業費	1,867,035 千円
	内)	施設整備費	1,197,494 千円
		維持管理・運営費	496,271 千円
		その他	173,270 千円
給食開始	平成 22 年 9 月 1 日		
調理能力	5,000 食		
配食校	8 校(小学校 5、中学校 3)	118 学級	
給食対象 児童・生徒人数	3,655 人		
職員数	5 人	課長(所長)1、管理スタッフ統括(副参事)1、 主幹1、県栄養士2 (令和5年4月より調理業務について民間に委託)	
配送の状況	方法	コンテナ(1 コンテナ 6 学級分)	
	配送車	4 台(委託)	
	配送時間	午前 10 時 20 分から午前 11 時 35 分まで	
	回収時間	午後 1 時から午後 2 時 10 分まで	
厨房設備	電気式連続フライヤー	114,88kW 1 台	スチームコンベクションオープン 56kW 2 台
	コンテナ消毒保管庫	27kW 19 台	電気式食器消毒保管庫 8.75kW 3 台
	電気式食器消毒保管庫	13.5kW 2 台	トラックイン電気式消毒保管庫 54kW 3 台
	トラックイン電気式消毒保管庫	27kW 4 台	トラックイン電気式消毒保管庫 13.5kW 2 台
	真空冷却機	56kg/h 2.4kW 1 台	蒸気回転釜 76kg/h 310ℓ 9 台
	IH 調理器	1.3kW 1 台	IH 調理器 7.85kW 2 台
	コンテナ洗浄機	169.65kW	食器トレー洗浄機 100kg/h 63.2kW 1 台
	食缶洗浄機	100kg/h 77.7kW 1 台	包丁まな板殺菌保管庫 4 台
特性	学校給食法に基づいた指導、集中管理により施設整備の近代化、労務、衛生、栄養調理技術の向上に努め、諸経費節約、合理化の推進を図る。		

(3)高根学校給食センター(令和5年4月1日現在)

所在地	御殿場市塚原41番地の3			
敷地	815㎡			
建物面積	500.54㎡	管理・調理棟 494.24㎡		
		ボイラー室・電気室等 6.3㎡		
構造	鉄骨造平屋建(地下ピット鉄筋コンクリート造)			
工期	着工	平成6年3月30日		
	竣工	平成7年3月20日		
建設費	建築工事費	126,817千円		
	電気工事費	28,753千円		
	機械設備工事費	101,276千円		
	計	256,846千円		
給食開始	平成7年4月1日			
調理能力	1,000食			
配食校	3校(小学校2、中学校1)	16学級		
給食対象 児童・生徒人数	358人			
職員数	9人	所長(西と兼務)1、主幹(給食統括)1、県栄養士1、調理職員2、調理パート会計年度任用職員4		
配送の状況	方法	コンテナ(1コンテナ6学級分)		
	配送車	1台(委託)…西学校給食センター兼務		
	配送時間	午前11時10分から午前11時30分まで		
	回収時間	午後1時40分から午後1時55分まで		
厨房設備	給湯ボイラー1,170ℓ	1台	冷凍冷蔵庫	1台
	揚物機	1台	ガス回転釜	110ℓ 4台
	真空冷却機	1台	球根皮むき機	1台
	さいの目カッター	1台	食器消毒保管庫	3台
	スプーン洗浄機	1台	フードスライサー	1台
	食器・食缶洗浄機	1台	スチームコンベクションオープン	1台
	食缶消毒保管庫	2台	超音波洗浄機	1台
	箸洗浄機		器具消毒保管庫	3台
	冷凍庫	1台	冷蔵庫	2台
特性	学校給食法に基づいた指導、集中管理により施設整備の近代化、労務、衛生、栄養調理技術の向上に努め、諸経費節約、合理化の推進を図る。			

④ 学校給食の実施状況

令和5年5月1日現在

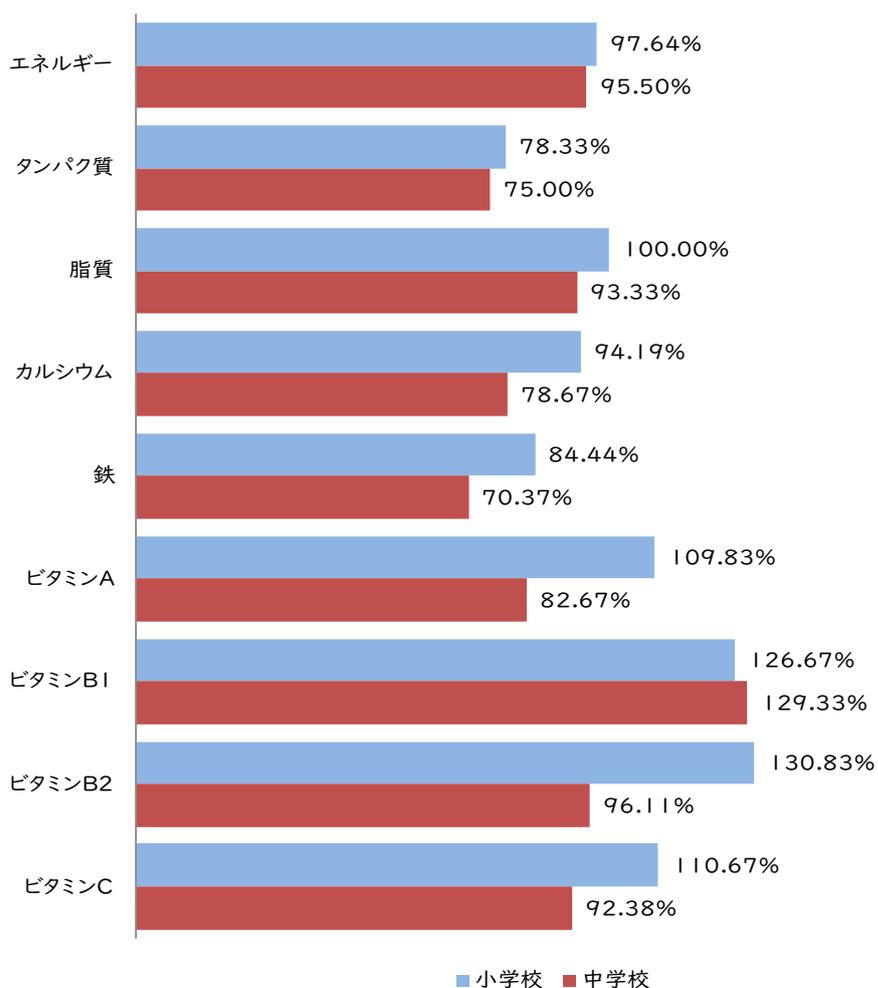
センター名	学校名	クラス数	対象人員	給食型
西学校給食センター	御殿場小学校	31	984	完全
	原里小学校	15	434	//
	玉穂小学校	13	407	//
	印野小学校	6	97	//
	原里中学校	12	380	//
	西中学校	9	286	//
	小計	86	2,588	
南学校給食センター	御殿場南小学校	21	695	完全
	東小学校	12	317	//
	富士岡小学校	17	518	//
	神山小学校	8	208	//
	朝日小学校	12	347	//
	御殿場中学校	20	660	//
	南中学校	13	405	//
	富士岡中学校	15	505	//
小計	118	3,655		
高根学校給食センター	高根小学校	9	236	完全
	上小林分校	2	17	//
	高根中学校	5	105	//
	小計	16	358	
合計		220	6,601	

【給食費】 小学校:月額 4,820 円
 中学校:月額 5,830 円
 (11回徴収)
 ※給食費助成後納付額
 小学校:月額 3,620 円
 中学校:月額 4,380 円

⑤ 児童・生徒一人当たり栄養摂取状況

区分	単位	小学校				中学校			
		基準量	摂取量			基準量	摂取量		
			6月	11月	年平均		6月	11月	年平均
エネルギー	Kcal	650	633	628	635	830	788	784	793
タンパク質	%	13~20	16	16	16	13~20	15	15	15
脂質	%	20~30	30	30	30	20~30	28	28	28
カルシウム	mg	350	351	330	330	450	379	355	354
鉄	mg	3.0	2.7	2.5	2.5	4.5	3.3	3.1	3.2
ビタミンA	μgRE	200	221	206	220	300	251	232	248
ビタミンB1	mg	0.40	0.51	0.50	0.51	0.50	0.65	0.64	0.65
ビタミンB2	mg	0.40	0.52	0.50	0.52	0.60	0.58	0.56	0.58
ビタミンC	mg	25	29	24	28	35	33	28	32

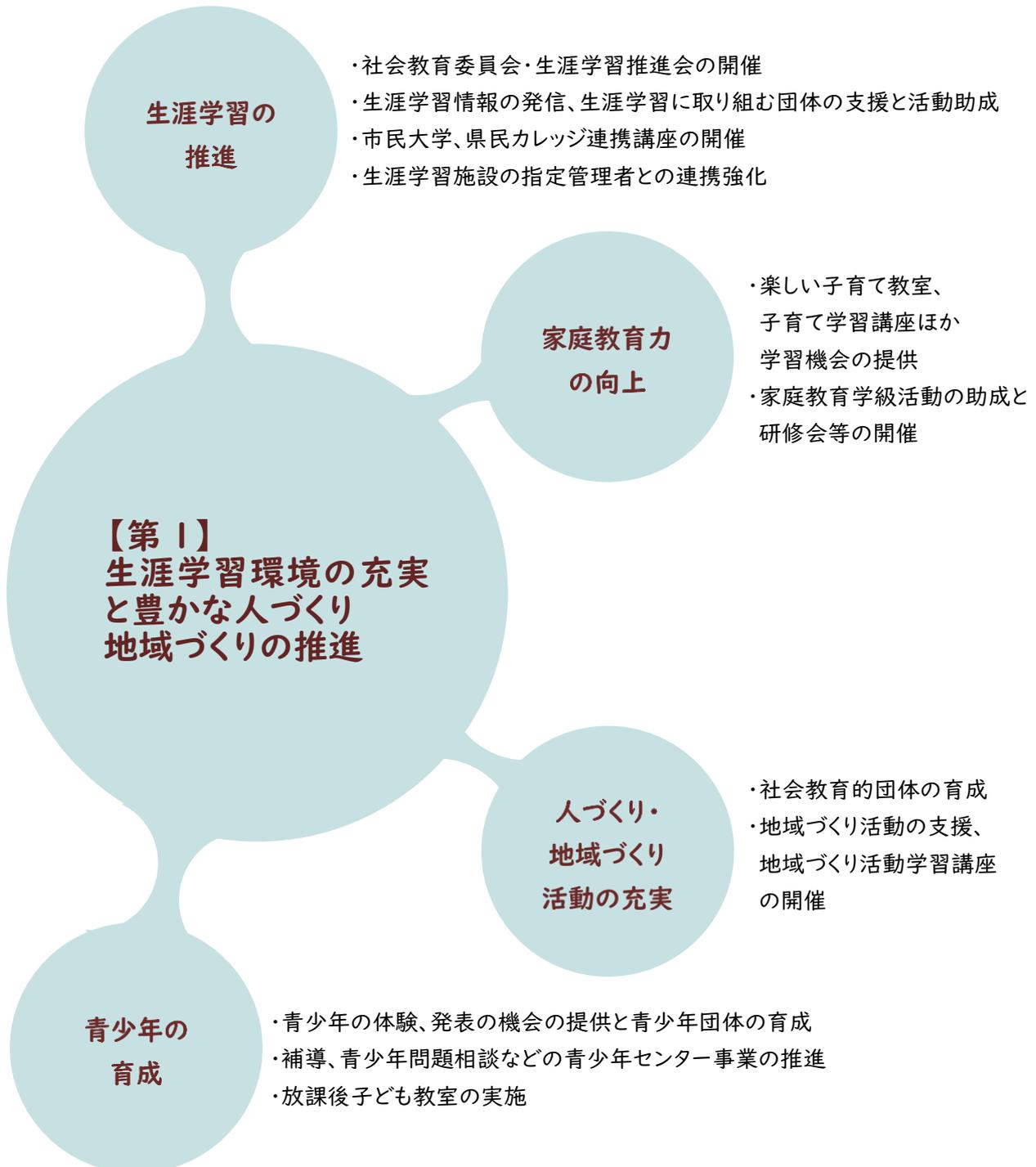
栄養充足率(年間平均)



社会教育

Ⅰ 社会教育

① 主要事業



- ・文化財審議会を開催、指定文化財の保護・整備・活用、埋蔵文化財の発掘調査、出土品の保存、調査研究成果のまとめ（調査報告書等の発行）
- ・民俗資料の整理及び収蔵庫管理、富士山測候所関係資料の活用、阿部雲気流博物館資料の調査・活用
- ・新図書館の郷土資料館機能に関する計画立案

**文化財の保護・
継承・保存とそ
の活用**

**【第2】
文化財の
保護と活用**

- ・世界遺産富士山の保全を確固たるものにする活動・支援の充実

**世界文化遺産
富士山の保全**

**芸術・文化活動
機会の充実**

- ・芸術・文化に関する鑑賞機会の提供
- ・芸術・文化活動の創作や発表の機会の提供
- ・次世代の担い手対策の実施

**芸術・文化活動
体制の強化**

- ・芸術・文化活動を行う団体の支援
- ・地域及び企業、他分野との連携

**【第3】
芸術・文化活動
の振興**

**芸術・文化活動
基盤の確保**

- ・文化施設の環境整備
- ・文化施設の有効活用
- ・文化施設の施設管理者との連携強化

**芸術・文化に
関する情報の
発信**

- ・芸術・文化活動に関する情報提供と情報発信
- ・ICTを活用した情報発信と利便性の向上

② 令和5年度事業一覧表

社会教育体制整備						
事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)	
社会教育委員会	豊かな人づくり地域づくりのための社会教育の施策を研究調査する。	4回		会議 研修	351	
社会教育指導員の設置	社会教育の特定分野(相談・家庭教育・補導活動・団体育成など)について指導・支援にあたる。		年間	4人	8,344	
社会教育担当者研修	社会教育担当者の資質向上を図る。		年間	研修 講習	-	
社会教育調査	社会教育行政に必要な参考資料を整備し、調査体制を確立する。		年間	調査	-	

生涯学習の推進						
事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)	
生涯学習推進会等運営事業	推進会で生涯学習の推進を図る。 生涯学習ボランティアセンターの育成を図る。		年間	会議 研修	600	
生涯学習啓発情報提供事業・学習相談事業	市民が生涯にわたり自主的に学習に取り組む気運を醸成するため、啓発活動を行う。		年間	みちしるべ 発行	-	
みくりやの五×五(ゴ-ゴ-)活動事業	生涯学習の定着・みくりやの五×五活動の拡大を図るため、市内各機関団体への助成を行う。		年間	生涯学習 奨励事業	90	
視聴覚器材の管理・運営	多くの市民が視聴覚器材(DVD等)を学習活動等に利用しやすいように整備管理する。		年間	管理	-	
市民大学講座	教養を高め豊かな精神を養うために、生涯にわたって学ぶ心を育てる。	5回	8月 ～ 12月	講座	425	
富士山市民のサロン指定管理事業	富士山市民のサロンの管理・運営にシダックスヒューマンサービス株式会社を指定管理者とし、施設の効率的な利用を促進する。		年間	指定管理	9,900	

家庭教育力の向上

事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
家庭教育学級活動の推進	家庭で果たすべき役割を明確にし、問題意識をもった家庭教育学級の開設の奨励と意識の高揚を図る。	22 学級	年間	指導 助言	963
家庭教育学級の 手引き(ふじざくら) 発行	家庭教育学級の記録を作成し学級振興の手引きとする。		6 月	発行配布	174
家庭教育学級 運営委員研修会	望ましい運営のあり方の研修を行うと同時に、学級間の連絡調整を目的とする。	7 回	4 月 ～ 1 月	研修	-
楽しい子育て教室	幼児の教育を中心に学習を進め、家庭教育の一助とする。	16 回	5 月 ～ 12 月	学習	746
子育て学習講座 (親学)	小中学校の新入学児童生徒の保護者を対象に、その時期の子どもの特徴等を学習し家庭教育を見直す機会にする。	各校 1 回	1 月 ～ 2 月	講座	30

人づくり・地域づくり活動の充実

事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
地域づくり活動 学習講座	地域づくり活動の指導者、あるいは実践者としての幅広い学習活動を支援するための研修を行う。	3 回 程度	年間	講義	66
地域づくり活動主事 連絡会	地区公民館の主事の情報交換と、地域づくり活動を活発にするための研修活動を行う。		年間	座談研修	221
地域の文化・ 体育振興団体及び 地域団体の育成	地域の文化・体育団体及び地域づくり関係団体の支援を行う。		年間	補助金 指導助言	69,875
女性団体育成	女性団体活動への指導助言と各種の研修会や大会へ参加する。		年間	補助金 指導助言	843

青少年の育成

事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
青少年団体育成	青少年の健全育成を図るため、団体活動を支援する。		年間	補助金 指導助言	700
わたしの主張 発表大会	小中学生が、日頃の生活の中で思っている事や体験したことなどについて、発表する場を設ける。		6月	発表大会	54
二十歳の集い	大人としての自覚と御殿場市民としての誇りを高める。	1回	1月	式典	603

青少年の対策

事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
青少年問題協議会	青少年の指導、健全育成、保護及び矯正に関する総合的施策の樹立に必要な事項を調査・審議する。	2回		会議 調査	201
青少年センター 運営懇話会	青少年センター事業(補導・相談・環境浄化事業等)について総合的かつ効果的に推進できるよう、運営に関し専門的意見を聴取する。	1回		会議	18
青少年相談事業	青少年や保護者から相談を受け助言等を行う。		年間	電話 面接 相談	52
補導事業	学区・学校・PTA 等から推薦された補導委員により不良行為等の早期発見と青少年への声掛けを行い、非行防止・事故防止を図る。		年間	街頭・ 一斉・ 校区・ センター補導	1,173
環境浄化事業	青少年のための良好な環境づくりのため、地域や事業所の協力のもと、パトロール・立入調査等を実施する。		年間	立入調査 パトロール	-
放課後子ども教室 推進事業	放課後等の子どもの安全・安心な居場所づくりのため、運営委員会を設置、放課後子ども教室を実施する。		年間	会議 教室実施	3,510
健全育成啓発活動	青少年健全育成のための啓発活動を推進し、家庭や地域等での教育機能を高める。		年間	キャンペーン 広報掲載	16
青少年健全育成会 連絡協議会	市内 6 地区の青少年健全育成組織が相互に連絡調整を図り、青少年の健全育成活動を全市的に展開する。		年間	会議研修 共催事業	149
市 PTA 連合会 事業補助金	PTA 活動の支援及び育成を図る。		年間	活動費助 成	131

文化財の保護と活用

事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
文化財審議会	文化財に対する調査研究及び審議をすると共に、委員の資質向上を図る。神社棟札調査を実施する。	4回	年間	会議 調査	378
埋蔵文化財調査	埋蔵文化財包蔵地等の確認調査及び本発掘調査を必要により実施する。		随時	調査	171
神社棟札調査	市内各地区を順に調査し、神社や村の歴史を記した棟札を調査し、報告書を作成する。		年間	調査	-
文化財の保護と活用	指定及び国登録文化財(国6・県7・市13・国登録5)の保存公開・啓発活動並びに賞賜金を交付する。市教育委員会所蔵資料等の保存公開を実施する。		年間	保存 管理 活用	5,806
民俗資料収蔵庫管理・運営事業	民俗資料収蔵庫の管理及び資料整理委託。隔年で燻蒸作業を実施する。		年間	保存 管理	2,632
世界遺産富士山の保全	保全のための活動、支援事業を実施する。令和3年度から令和6年度まで、県、裾野市と三者共同で須山口・御殿場口登山道の巡礼路調査を実施する。		年間	会議 調査	1,185
印野の熔岩隧道(丸尾苑)管理事業	丸尾苑の維持管理業務を行う。		年間	保全 整備 管理	1,487

芸術・文化活動の振興

事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
市民芸術祭	市民の芸術・文化に対する意識を高揚することを目的に、ステージ部門 6 部門、展示部門 9 部門、その他 5 部門において、ごてんば市民芸術祭を開催する。	21 部門	年間	舞台発表 展示 その他	1,530
文化芸術賞賜金	次世代の担い手である高校生世代の芸術・文化活動の振興を図るため、全国大会に出場した生徒及びその団体に賞賜金を交付する。		年間	賞賜金	100
文化団体補助事業	自由で自発的な芸術・文化の振興と、芸術・文化活動のすそ野の拡大を図るため、文化協会への補助・助言等を行う。		年間	補助 助言	2,680
市民会館施設指定管理事業	御殿場市民会館の管理・運営に御殿場総合サービスグループを指定管理者とし、施設の効率的な利用を促進する。		年間	指定管理	113,530
東山旧岸邸指定管理事業	東山旧岸邸の管理・運営に株式会社虎玄を指定管理者とし、施設の効率的な利用を促進する。		年間	指定管理	24,750

指定管理施設の概要

(1) 御殿場市民会館

所在地	御殿場市萩原 183-1 TEL:0550-83-8000 FAX:0550-83-8003
敷地面積	18,027 m ²
建築面積	4,283 m ² ホール棟:3,567 m ² / 会議棟:716 m ²
建物の構造	鉄筋コンクリート一部鉄骨造 ホール棟:地下1階・地上5階 / 会議棟:地下1階・地上3階
延床面積	7,795 m ² ホール棟:5,478 m ² / 会議棟:2,317 m ²
着工	ホール棟:昭和 51 年 1 月 12 日 会議棟:昭和 52 年 10 月 1 日
竣工	ホール棟:昭和 52 年 3 月 20 日 会議棟:昭和 53 年 3 月 25 日
指定管理者	御殿場総合サービスグループ
令和 4 年度の利用状況	入館者 計 103,213 人 大ホール:31,930 人 小ホール:17,475 人 会議棟:53,808 人

(2) 東山旧岸邸

所在地	御殿場市東山 1082-1 TEL:0550-83-0747 FAX:0550-83-0778
設計	吉田 五十八
施工	水澤工務店
敷地面積	5,364.57 m ²
建物の構造	本館 木造及び一部鉄筋コンクリート造 地上2階 展示研修棟 木造平屋建て
延床面積	本館 567.66 m ² (1階 406.17 m ² / 2階 161.49 m ²) 展示研修棟 207.53 m ²
指定管理者	株式会社 虎玄
令和4年度の利用状況	入館者 27,420 人
文化財の指定等	国登録有形文化財 (登録名称「旧岸邸」 令和3年 10 月 14 日登録)

(3) 御殿場市青少年広場

所在地	御殿場市東山 1082-25 TEL:0550-83-1133 FAX:0550-83-1138
運動場面積	2,350.9 m ²
自由広場面積	1,738.5 m ²
野外炊飯場面積	722 m ²
駐車場	敷地面積 687 m ² 駐車場台数 25 台 うち身障者用 1 台
指定管理者	公益財団法人 日本 YMCA 同盟
令和 4 年度の利用状況	利用者数 計 8,019 人 炊事棟:181 人 自由広場:148 人 運動広場:510 人 その他: 7,180 人

(4) 御殿場市富士山市民のサロン

所在地	御殿場市新橋 2004-1 TEL:0550-70-3776 FAX:0550-70-3766
建物全体面積	延床面積 498.79 m ² (1階 258.03 m ² / 2階 240.76 m ²)
市賃借面積	延床面積 460.89 m ² (1階 239.27 m ² / 2階 221.62 m ²)
駐輪場・障がい者駐車場外	228.02 m ²
建物の構造	重量鉄骨造 地上2階
指定管理者	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社
令和 4 年度の利用状況	入館者 37,989 人

③ 指定・登録文化財

令和5年4月1日現在

国指定

指定区分	名称	指定年月	所在地	管理者・所有者
天然記念物	駒門風穴	T11.3.8	駒門	駒門風穴保存会
天然記念物	印野の熔岩隧道	S2.4.8	印野(古印野) 印野(丸尾)	(一社)印野郷土振興協会 御殿場市(社会教育課)
特別名勝	富士山	S27.11.22	富士山	
史跡	富士山	H23.2.7	富士山	
重要文化財	手焙形土器	S48.6.6	市役所	御殿場市(社会教育課)
重要無形 民俗文化財	沼田・大坂の湯立神楽	R4.3.23	沼田 大坂	沼田の湯立神楽保存会 大坂神楽保存会

県指定

指定区分	名称	指定年月	所在地	管理者・所有者
天然記念物	二枚橋の柏	S32.12.25	二枚橋	個人
史跡	深沢城跡	S35.2.23	深沢	御殿場市(管理団体)
天然記念物	永塚の大杉	S35.2.23	永塚	永塚浅間神社
工芸品	刀銘(葵文)主水正藤	S37.6.15	新橋	個人
天然記念物	宝永のスギ	S38.2.19	柴怒田	子之神社
天然記念物	川柳浅間神社の杉	S38.12.27	川柳	川柳浅間神社
工芸品	刀銘備州長船家重	S41.3.22	神場	個人

市指定

指定区分	名称	指定年月	所在地	管理者・所有者
工芸品	善龍寺の喚鐘	S47.9.11	中畑	善龍寺
工芸品	二岡神社の灯籠	S47.9.11	二の岡	二岡神社
無形民俗文化	鮎沢の祈禱三番	S48.12.24	鮎沢	鮎沢の祈禱三番保存会
天然記念物	駒門の大公孫樹	S55.5.27	駒門	駒門浅間神社
天然記念物	二岡神社の社叢	S62.3.3	二の岡	二岡神社
天然記念物	神山のタブノキ	H2.12.1	神山	個人
工芸品	光真寺の三十三体仏	H5.1.5	印野	印野区
建造物	林氏の長屋門	H5.1.5	上小林	個人
天然記念物	印野内山のヒノキ	H6.2.1	印野	小木原区
建造物	旧石田家住宅	H11.3.18	印野	御殿場市(農政課)
建造物	旧秩父宮御殿場御別邸	H12.3.27	東山・二の岡	御殿場市(公園緑地課)
工芸品	久成寺の鰐口	H12.8.1	清後	久成寺
科学技術	阿部雲気流博物館資料	R3.3.24	富士山樹空の森	御殿場市(社会教育課)

国登録

指定区	名称	指定年月日	所在地	管理者・所有者
建造物	神山復生病院事務所棟	H18.3.2	神山	一般財団法人神山復生会 神山復生病院
建造物	富士カントリー倶楽部クラブハウス	H24.2.23	東山	株式会社富士カントリー倶楽部
建造物	YMCA 東山荘フィッシャー館	R2.8.17	東山	公益財団法人日本 YMCA 同盟
建造物	YMCA 東山荘齊藤記念館	R2.8.17	東山	公益財団法人日本 YMCA 同盟
建造物	旧岸邸	R3.10.14	東山	御殿場市(社会教育課)

2 図書館

あらゆる種類の知識や情報を利用者が入手できるよう「図書館の自由に関する宣言」と「ユネスコ公共図書館宣言1994」を尊重し、主要事業を進めていきます。令和5年4月1日から指定管理者による管理を開始しました。

① 主要事業

読書の推進

- ・新図書館等の整備
- ・蔵書の充実
- ・視聴覚資料の充実
- ・広報活動の推進
- ・子ども読書活動推進計画の検証と見直し
- ・ブックスタート事業の推進
- ・インターネットでの蔵書検索の充実
- ・図書のリサイクル事業
- ・富士岡地区図書館・移動図書館車の活用
- ・指定管理者との連携

読書の普及や 自発的な学習活動の 支援

自発的な 学習活動 の支援

- ・施設の整備・読書・資料相談
(レファレンス)の充実
- ・図書情報の公開及び学習情報の提供
- ・ボランティア活動の場と機会の提供、
地区・学校図書館との連携
- ・近隣公立図書館との広域利用や
ネットワーク化、IT利用の促進

調査研究 事業

- ・古文書調査事業の推進
- ・御殿場市の歴史研究論文募集
- ・デジタル写真資料の管理と有効活用

② 令和5年度事業一覧表

(1)教育委員会が直接行う事業

事業名	内容	予算(千円)
読書推進及び利用の充実	図書の企画展示開催等、様々な機会をとらえて読書に親しむようPRする。特に5月のこども読書週間と11月の読書推進月間中は特別にPRする。 図書の広域利用を近隣他市町と協力し推進する。	-
子ども読書活動 推進事業	「御殿場市子ども読書活動推進計画」に基づき会議を開催し、各種事業を実施する。	30
ブックスタート事業	子育て支援、子どもの読書推進活動の一環として、保健センターの6か月児健診の受診者に絵本等を提供し、親子のふれあいと絵本へ親しみを深める。	983
図書整備事業	市民の資料・情報センターとして広い分野の図書及び視聴覚資料を収集し、市民の利用に供する。	10,000
御殿場市立図書館 指定管理施設運営事業	図書館の管理運営にシダックス大新東ヒューマンサービス株式会社を指定管理者とし、施設の効率的な利用を促進する。	83,160
新図書館等整備事業	令和4年11月に完成した御殿場市立図書館等整備基本計画を基に、郷土資料館を複合化した新図書館を整備する。令和5年度は主に、実施設計、本体建設工事を行う。	1,389,318

(2)指定管理者が行う事業

事業名	内容	予算(千円)
文学散歩	文学作品に関する文学碑、史跡、資料館などを探訪する。	-
地方史研究の論文募集	図書館で収集した郷土資料等を活用し、御殿場市の歴史を調査研究した論文を募集する。	-
統計グラフ教室	夏休みのレファレンスの一環として、小学生が統計グラフのテーマの選択や資料収集の仕方、グラフの書き方などを学ぶ。	-
夏休み宿題相談コーナー	レファレンス業務の一環として、小中学生の宿題や総合的学習の相談にのり、適切な資料を紹介し援助する。	-
中高生ボランティア 及び体験学習	中高生が図書館業務を体験することにより、図書館サービスの理解を深める。	-
文学講座	文学を学ぶことにより、広く文化への理解を深め、より高度な学習や読書へ誘う。古典文学講座を開催。	-
図書館資料等の リサイクル	除籍資料や市民からリサイクルを依頼された資料を希望者に無料で提供する。図書館まつりや生活フェアにもリサイクルブックコーナーを設けて参加。	-
親子おはなしの会	幼児とその親を対象に絵本の読み聞かせ・紙芝居などを行い、本の楽しさを伝え、親子の読書習慣を培う。	-

(3) 図書館関係団体による自主運営事業

事業名	内容	予算(千円)
図書館ボランティアの会	図書館で子どもを対象に「おはなし広場」を開催し、絵本等の読み聞かせを行っている。 また、ブックスタート事業の運営に全面的に協力している。	135
くろつぐみの会	視覚障害者に対する奉仕活動として、広報ごてんば・市議会だよりや図書の録音 CD 作成のほか、対面朗読を行っている。	45
古文書を読む会	御殿場市内に所在する古文書を整理・解読し地域の歴史を学び、その研究成果を発表している。	

③ 施設の概要

(1)本館

所在地	御殿場市萩原 580 番地の 2 TEL:82-0391 FAX:82-0382		
敷地面積	7,718.81 m ²		
建物面積	1,901.38 m ²		
建物の構造	鉄筋コンクリート(一部鉄骨造) 2階建		
延床面積	2,382.86 m ² 1階:1,829.92 m ² 2階:518.63 m ² 3階:34.31 m ²		
着工	昭和 55 年 9 月 14 日		
竣工	昭和 56 年 8 月 31 日		

(2)富士岡地区図書館

所在地	御殿場市中山 435 番地の 1(市役所富士岡支所内) TEL:87-0976 FAX:87-0977		
床面積	42.12 m ²		

(3)移動図書館

名称	移動図書館車ライオンズ号			
車両の概要	車幅 216cm	車高 267cm	車長 618cm	排気量 4,000cc
積載冊数	約 3,500 冊			
巡回場所	市内 40 箇所(2週間毎に巡回)			

(4)図書館の歩み

市立図書館は、市民の献本運動による寄贈図書をもとにして、昭和 45 年 11 月 10 日に社会教育会館(現在の保健センター所在地)の一部を改造し開館した。

蔵書の増加等により施設が手狭になり、老朽化もあって、昭和 56 年 11 月 3 日に新館を現在地に開館し、市民の資料・情報の場として幅広い分野の資料を収集し、サービスに努めている。富士岡地区図書館は、昭和 62 年 7 月から図書館サービスを開始した。

平成 12 年に視聴覚資料の館内視聴と貸出サービスを開始。平成 13 年に成人書架を増設し、蔵書能力の向上と資料を探しやすい・使いやすい図書館を目指した。

平成 19 年 3 月に「子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもたちの読書の機会の増加に努めている。

移動図書館車による巡回サービスは、昭和 46 年 4 月 26 日に開始し、図書館の全域サービスを図ってきた。現在の移動図書館車は 5 台目、平成 23 年 12 月に更新し、市内 40 箇所を 2 週間かけて巡回する。

施設の老朽化や市民ニーズの多様化に伴い、平成 28 年度から平成 30 年度まで問題点を整理し方向性をまとめてきた。令和元年度から令和 2 年度まで、「図書館等整備基本構想策定懇話会」を開催し、「図書館等整備基本構想」を策定した。令和 4 年には市民ワークショップや小学生ワークショップを開催するとともに、各団体等から意見を聴収し、「図書館等整備基本計画」としてまとめ、設計に反映した。今後は、建物本体の建設工事へと進めていく。

また、令和 5 年 4 月 1 日からは、指定管理者制度を導入し、シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社に運営を委託した。

④ 所蔵資料

(1) 図書		(2) その他の資料	
種類	所蔵冊数	種類	点数
(a) 一般図書	192,281	雑誌	113 種
0 総記	9,935	新聞	18 紙
1 哲学	8,154	CD	1,061 枚
2 歴史	19,612	ビデオテープ	19 巻
3 社会科学	29,534	カセットテープ	2 巻
4 自然科学	12,575	DVD	1,376 本
5 工学	7,802	点字図書	113 タイトル
(59) 家事	5,802	視覚障害者用録音図書	227 タイトル
6 産業	5,065		1,228 巻
7 芸術	14,885		
8 言語	3,559		
9 文学	75,358		
(b) 児童図書	64,630		
児童図書	37,181		
絵本	25,862		
紙芝居	1,587		
(c) 郷土資料	23,187		
(d) 外国語図書	1,485		
合計(a)+(b)+(c)+(d)	281,583		

令和5年3月末現在

⑤ 令和4年度の利用状況

(1) 利用者数・貸出冊数

区分	開館日数	入館者	利用者
本館	304	141,687	77,801
地区図書館	192	2,914	2,138
移動図書館	194	12,246	3,598
合計		156,847	83,537

区分	貸出冊数(冊)					
	一般図書等	児童図書	外国語図書	雑誌	視聴覚	計
本館	171,920	171,921	370	13,936	7,981	366,128
地区図書館	4,233	4,715	3	343	0	9,294
移動図書館	5,657	16,766	8	1,325	1	23,757
合計	181,810	193,402	381	15,604	7,982	399,179

(2) 貸出冊数の資料種別の比率

区分	一般図書等	児童図書	外国語図書	雑誌	視聴覚	計
本館	46.96	46.96	0.10	3.80	2.18	100
地区図書館	45.55	50.73	0.03	3.69	0.00	100
移動図書館	23.81	70.57	0.04	5.58	0.00	100
合計	45.55	48.45	0.09	3.91	2.00	100

(3) 1日平均入館者・利用者・貸出冊数

区分	入館者(人)	利用者(人)	貸出冊数(冊)
本館	466	256	1,204
地区図書館	15	11	48
移動図書館	63	19	122
合計	544	286	1,374

(4) 年代別登録者数及び比率

区分	入館者(人)	貸出冊数(冊)
0~12歳	3,244	6.0
13~15歳	1,829	3.4
16~18歳	2,101	3.9
19~29歳	8,756	16.2
30~39歳	8,552	15.8
40~49歳	10,469	19.3
50~59歳	8,023	14.8
60歳以上	11,185	20.6
合計	54,159	100.0

(5) その他の利用者統計

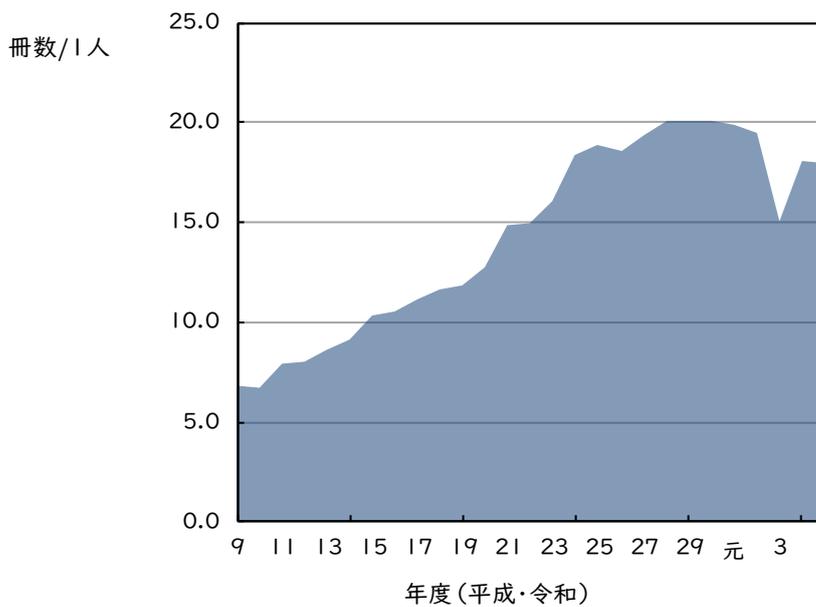
事業名称	利用実績等	実施月日	参加人数
親子おはなしの会	24 回開催	毎月第 2・4 水曜日外	310 人
おはなし広場	50 回開催	毎週土曜日	555 人
文学散歩	富士宮方面 (富士山世界遺産センター等)	6 月 27 日	20 人
古典文学講座	日記文学について	1 月 7 日、14 日、21 日	22 人
統計グラフ教室	県の統計出前講座を活用	7 月 16 日	19 人
図書館まつりウィーク	絵本原画展、おはなし会、クイズラリー 折り紙教室等	11 月 3 日～11 月 6 日	3,423 人
複写サービス	受付件数 690 件/2,977 枚	年間	-
予約・リクエスト件数	受付件数 14,869 件	年間	-
レファレンス質問 受付件数	受付件数 3,944 件 (対面 2,385 件/電話・メール 1,559 件)	年間	-
視聴覚コーナー利用件数	-	R2 から利用中止	-
リサイクルブックコーナー実績	3密を避けるため、常設とした 提供冊数 4,945 冊	R3 から常設	-
視覚障害者用朗読テープ作成	広報ごてんば、市議会だより外 (録音テープ作成)	年間	14 人 (提供者)
ブックスタート	22 回(6 か月健診時に実施)	毎月第 1・3 水曜日	595 組

(6) 他図書館との相互貸借利用冊数

区分	国立国会 図書館	県立中央 図書館	他市町村 図書館	大学・専門 図書館	県外公立 図書館	合計
借受冊数	0	117	1,000	18	0	1,135
貸出冊数	0	6	548	0	6	560
合計	0	123	1,548	18	6	1,695

(7) 児童図書貸出冊数の年次推移

年度 (平成・令和)	児童図書 貸出冊数	0-14歳人口 (10月1日時点)	冊数/1人
8	98,054	14,345	6.8
9	95,392	14,106	6.8
10	109,862	13,867	7.9
11	109,960	13,628	8.1
12	115,210	13,388	8.6
13	122,605	13,438	9.1
14	140,072	13,488	10.4
15	143,121	13,538	10.6
16	151,935	13,588	11.2
17	159,049	13,640	11.7
18	161,903	13,665	11.8
19	174,448	13,689	12.7
20	203,550	13,714	14.8
21	206,021	13,738	15.0
22	221,207	13,763	16.1
23	251,224	13,670	18.4
24	256,587	13,576	18.9
25	250,984	13,483	18.6
26	259,132	13,389	19.4
27	266,587	13,296	20.1
28	263,008	13,078	20.1
29	257,547	12,816	20.1
30	248,355	12,503	19.9
元	234,710	12,050	19.5
2	174,548	11,619	15.0
3	202,329	11,192	18.1
4	193,402	10,763	18.0



資料

Ⅰ 事業年譜

※平成29以前の事業年譜につきまして、平成30年度発刊の「御殿場市教育のあゆみ」をご参照下さい

平成 30 年度		
30.	7.12	食物アレルギー対応給食「ごてんばこめこカレー」の日実施
	7.26	御殿場市教育フォーラム 2018 開催
	8	デジタルミュージアム「御殿場資料館」を市ホームページで公開
	11.3	第 1 回総合教育会議開催
	11.6	図書館まつり開催
	11.30	食物アレルギー対応給食ごてんばこめこハヤシの日実施
	12.16	「富士山の麓で歌う第九演奏会」開催
31.	1.24~28	食物アレルギー対応給食「ごてんばこめこカレー」の日実施(3日間)
	1.27	第 15 回生涯学習のつどい「ごてんばDONDON」開催
	3.15	高根地区児童屋内体育施設改修工事完成
	3.31	「御殿場市教育のあゆみ」刊行 教育長勝又將雄任期満了につき退任
令和元年度		
01.	6.8	令和改元記念事業 第 41 回御殿場市わたしの主張発表大会開催
	7.9	食物アレルギー対応給食みんなで食べる「ごてんばこめこカレー」
	7.17~8.31	夏休み宿題相談コーナー開設
	7.25	御殿場市教育フォーラム 2019 開催
	8.26	第 1 回総合教育会議開催
	8.27	第 1 回御殿場市立図書館等整備基本構想策定懇話会開催
	9.18	国立中央青少年交流の家 60 周年記念式典
	11.3	図書館まつり
	11.22	第 2 回御殿場市立図書館等整備基本構想策定懇話会開催
	11.25~26	食物アレルギー対応給食みんなで食べる「ごてんばこめこカレー」
	11.29	第 2 回総合教育会議
02.	1.28	食物アレルギー対応給食みんなで食べる「ごてんばこめこハヤシ」
	1.31	西中学校校舎改築工事 完成
	2.16	令和改元記念事業 第 10 回青少年のための科学の祭典富士山大会inごてんば開催
	3.18	小中学校空調設備整備工事 完成
	3.24	第 3 回御殿場市立図書館等整備基本構想策定懇話会開催

令和2年度		
02.	6.19	第4回御殿場市立図書館等整備基本構想策定懇話会開催
	7.9~10	食物アレルギー対応給食みんなで食べる「ごてんばこめこカレー」
	7.13	第5回御殿場市立図書館等整備基本構想策定懇話会開催
	7.14~8.31	夏休み宿題相談コーナー開設、夏休み読書ラリー、パスファインダー
	8.26	第1回総合教育会議
	11.3~11.8	図書館まつりウィーク
	11.18~20	食物アレルギー対応給食みんなで食べる「ごてんばこめこハヤシ」
	11.20	第2回総合教育会議
	12.21	西中学校 既存校舎解体工事 完了
03.	1	御殿場市立図書館等整備基本構想策定
	1.10	令和3年成人式(Web開催)
	1.27~29	食物アレルギー対応給食みんなで食べる「ごてんばこめこカレー」
	3.16	朝日小学校 校舎改修工事 完成
		南中学校 校舎改修工事 完成
	3.24	御殿場市指定文化財新規指定(阿部雲気流博物館資料)
令和3年度		
03.	4.6	富士山市民のサロンけやきかん開所式
	7.5	御殿場市教育委員会管理及び執行状況に関する懇話会
	7.8	食物アレルギー対応給食みんなで食べる「ごてんばこめこカレー」
	7.15	第1回新図書館設計者選定プロポーザル審査委員会
	7.15~8.31	夏休み宿題相談コーナー開設、夏休み読書ラリー、パスファインダー
	7.29	御殿場市教育フォーラム2021
	11.3~11.7	図書館まつりウィーク
	11.17	第2回新図書館設計者選定プロポーザル審査委員会
	11.16,22	食物アレルギー対応給食みんなで食べる「ごてんばこめこハヤシ」
	11.26	第1回総合教育会議
	12.21	御殿場市立学校設置審議会
04.	1.9	令和4年成人式
	1.27,28	食物アレルギー対応給食みんなで食べる「ごてんばこめこカレー」
	3.23	国重要無形民俗文化財新規指定(沼田・大坂の湯立神楽)
令和4年度		
04.	4.9,5.7	新図書館の整備に向けた市民ワークショップ
	6.2,16	新図書館の整備に向けた小学生ワークショップ
	6.11	第44回御殿場市わたしの主張発表大会
	7.5,14,15	食物アレルギー対応給食みんなで食べる「ごてんばこめこカレー」
	7.7	御殿場市教育委員会管理及び執行状況に関する懇話会
	7.1~8.31	夏休み宿題応援コーナー開設、夏休み読書ラリー、DVD鑑賞会、夏休み工作教室
	7.27	御殿場市教育フォーラム2022
	8.29	第1回総合教育会議

	9.27	西学校給食センターボイラー室改修工事完了
	11	御殿場市立図書館等整備基本計画策定
	11.3~11.6	図書館まつりウィーク
	11.15,30	食物アレルギー対応給食みんなで食べる「ごてんばこめこハヤシ」
	11.25	第2回総合教育会議
	12.21	御殿場市教育研究奨励賞授与式
05.	1.8	令和5年二十歳の集い
	1.25,26,30	食物アレルギー対応給食みんなで食べる「ごてんばこめこカレー」
	1.27	新図書館等整備事業敷地造成工事完了
	1.30	西中学校屋内運動場改築工事完了
	2.10	新図書館等整備事業下流河川工事完了
	2.19	ごてんばの日記念事業 第16回生涯学習のつどい「ごてんば DONDON」
	3.13	西中学校屋内運動場完成報告会

2 各種委員名簿

富士岡中学校区学校運営協議会委員 任期2年(令和5年4月1日~令和7年3月31日)

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員	磯邊 壽慶	地域住民	8	委員	坂上 剛	市職員
2	委員	中村 孝信	地域住民	9	委員	渡邊 秀明	地域住民
3	委員	成澤 喜久代	地域住民	10	委員	勝田 敏隆	地域住民
4	委員	荻田 五十彦	地域住民	11	委員	小松 孝和	地域住民
5	委員	内藤 成彦	学識経験者	12	委員	吉田 由夫	地域住民
6	委員	土屋 雅人	地域住民	13	委員	脇田 永吉	保護者
7	委員	萩倉 久美子	地域住民	14	委員	柳澤 桃子	保護者

高根小・中学校学校運営協議会委員 任期2年(令和5年4月1日~令和7年3月31日)

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員	杉山 和彦	市職員	8	委員	鈴木 治子	地域住民
2	委員	青木 正志	地域住民	9	委員	林 典男	地域住民
3	委員	長田 正司	地域住民	10	委員	小島 亮介	保護者
4	委員	高杉 俊司	地域住民	11	委員	杉山 香織	保護者
5	委員	高村 哲郎	地域住民	12	委員	大久 弘一	保護者
6	委員	田代 公一	地域住民	13	委員	高村 千代子	保護者

御殿場市立学校設置審議会委員 任期2年(令和4年4月1日~令和6年3月31日)

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員	佐々木 直行	校長会	8	委員	瀬戸 亮策	知識経験者
2	委員	小宮 隆	校長会	9	委員	中村 栄一	知識経験者
3	委員	勝俣 純	校長会	10	委員	永井 伸明	知識経験者
4	委員	三井 孝彦	PTA連合会	11	委員	立道 和策	知識経験者
5	委員	横山 泉	PTA連合会	12	委員	岩瀬 守	知識経験者
6	委員	鈴木 幸	区長会	13	委員	土屋 英次	知識経験者
7	委員	勝野 孝道	知識経験者				

御殿場市就学支援委員会委員 任期2年(令和5年4月1日~令和7年3月31日)

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員長	吽野 清恵	医師会代表	9	委員	佐藤 芳子	学校関係者
2	副委員長	杉山 道博	学校関係者	10	委員	伊藤 昭子	幼稚園保育園 関係者
3	委員	小松 正江	知識と経験を 有する者	11	委員	山下 麻紀子	幼稚園保育園 関係者
4	委員	稲木 龍元	学校関係者	12	委員	大胡田 幸子	家庭相談員
5	委員	勝村 由加利	学校関係者	13	委員	三崎 可南子	市職員
6	委員	三井 由香	学校関係者	14	委員	鈴木 可奈	市職員
7	委員	藤井 貴英	学校関係者	15	委員	菅沼 大祐	市職員
8	委員	白井 洋子	学校関係者				

御殿場市就園支援委員会委員 任期2年(令和5年4月1日～令和7年3月31日)

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員長	田内 守之	医師会代表	6	委員	稲木 龍元	学校関係者
2	副委員長	伊藤 昭子	幼稚園保育園関係者	7	委員	芹沢 則子	家庭相談員
3	委員	江藤 信子	知識と経験を有する者	8	委員	飯島 江梨子	市職員
4	委員	吉田 敏彦	幼稚園保育園関係者	9	委員	鈴木 可奈	市職員
5	委員	土屋 響	学校関係者	10	委員	田代 律子	市職員

御殿場市いじめ問題対策連絡協議会委員 任期2年(令和5年4月1日～令和7年3月31日)

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	会長	横溝 千都生	学校関係者	15	委員	萩倉 康	学校関係者
2	副会長	勝又 その	知識と経験を有する者	16	委員	村上 智洋	学校関係者
3	委員	速水 良太	関係行政機関の職員	17	委員	良知 隆	学校関係者
4	委員	押尾 直美	関係行政機関の職員	18	委員	芹澤 速水	学校関係者
5	委員	鈴木 治子	知識と経験を有する者	19	委員	田方 美夕紀	学校関係者
6	委員	松井 啓幸	関係行政機関の職員	20	委員	澤木 厚司	学校関係者
7	委員	山崎 和夫	関係行政機関の職員	21	委員	湯山 喬史	学校関係者
8	委員	川崎 寿	関係行政機関の職員	22	委員	出口 和輝	学校関係者
9	委員	藁科 泰裕	学校関係者	23	委員	真鍋 磨央	学校関係者
10	委員	近藤 翔太	学校関係者	24	委員	渡邊 博昭	学校関係者
11	委員	宮本 敬介	学校関係者	25	委員	九島 宏樹	学校関係者
12	委員	鈴木 直矢	学校関係者	26	委員	小越 隆則	関係行政機関の職員
13	委員	勝間田 辰也	学校関係者	27	委員	高杉 聡哉	関係行政機関の職員
14	委員	前田 正臣	学校関係者				

御殿場市学校結核対策委員会委員 任期2年(令和4年4月1日~令和6年3月31日)

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員長	齋藤 昌一	医師会代表	5	委員	馬淵 昭彦	御殿場保健所長
2	副委員長	岩田 祥吾	医師会代表	6	委員	原田 利志美	学校関係者
3	委員	安田 敏男	医師会代表	7	委員	野々上 利佳子	学校関係者
4	委員	中川 靖夫	医師会代表	8	委員	勝又 良衣	市職員

御殿場市立学校専門相談医制度運営懇話会構成員 任期2年(令和4年4月1日~令和6年3月31日)

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	構成員	岩田 祥吾	医師会代表	4	構成員	渡邊 明子	学校関係者
2	構成員	前田 隆寛	医師会代表	5	構成員	中嶋 正樹	市職員
3	構成員	秋岡 智子	学校関係者	6	構成員	小越 隆則	市職員

学校専門相談医一覧表

令和5年4月1日現在

産婦人科	整形外科医	脳神経外科	皮膚科医	精神科(心療内科)
五十嵐 辰博	渡辺 幸雄	勝田 洋一	志水 達也	-
牧野 恒久		前田 隆寛	富井 直子	
朱 丞華				

学校医・学校歯科医・学校薬剤師一覧表

令和5年4月1日現在

学校名	内科医	耳鼻科医	眼科医	歯科医	薬剤師
御殿場小学校	勝又 厚 安田 敏男	斉藤 弘亮	石川 友昭	豊山 篤 渡邊 栄一郎 杉山 良夫	原 久昌
東小学校	江島 経子	斉藤 彰治	石川 友昭	渡辺 孝 土屋 聡	芹澤 尚子
御殿場南小学校	田内 守之	斉藤 彰治	石川 友昭	勝又 修 勝又 正平	勝間田 あけみ
富士岡小学校	齋藤 昌一	斉藤 彰治	緒方 正史	斉藤 衛 三浦 文嗣	長田 進
神山小学校	安田 敏男	斉藤 彰治	緒方 正史	谷中 満 稲葉 一嘉	滝口 秀之
原里小学校	渡辺 幸雄	斉藤 彰治	緒方 正史	梶本 弘 大庭 礼之	原田 義信
朝日小学校	安田 敏男	斉藤 彰治	緒方 正史	稲葉 一嘉 吉津 和憲	杉山 ゆかり
玉穂小学校	安田 敏男	斉藤 彰治	緒方 正史	梶本 智子 石田 雅彦	原 久昌
印野小学校	渡辺 幸雄	斉藤 彰治	緒方 正史	杉山 有一	勝間田 尚
高根小学校	勝又 厚	斉藤 彰治	石川 友昭	江本 月美	杉山 博昭
御殿場中学校	勝又 厚	斉藤 弘亮	石川 友昭	野田 光子 渡邊 栄一郎	芹澤 尚子
南中学校	安田 敏男	斉藤 弘亮	石川 友昭	園田 正敏 瀧川 妙子	高橋 忠資
富士岡中学校	齋藤 昌一	斉藤 弘亮	緒方 正史	矢後 博次 江塚 孝子	太田 祐治
原里中学校	渡辺 幸雄	斉藤 弘亮	緒方 正史	石川 春人	原田 義信
西中学校	渡辺 幸雄	斉藤 彰治	石川 友昭	羽田 康叙	原 久昌
高根中学校	江島 光彦	斉藤 彰治	石川 友昭	杉山 良夫	杉山 ゆかり
御殿場幼稚園	勝又 厚			渡辺 孝	原 久昌
富士岡幼稚園	齋藤 昌一			斉藤 衛	永井 達也
竈幼稚園	齋藤 昌一			大津 昌一	勝間田 あけみ
原里幼稚園	安田 敏男			矢後 博次	長田 進
玉穂幼稚園	田内 守之			梶本 智子	勝又 英司
森之腰幼稚園	田内 守之			羽田 康叙	太田 祐治

御殿場市立学校給食センター運営委員会委員名簿 任期1年(令和5年4月1日~令和6年3月31日)

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	会長	杉山 道博	市立学校長	10	委員	市川 里美	市立学校 PTA 代表者
2	委員	秋岡 智子	市立学校長	11	委員	後藤 友里恵	市立学校 PTA 代表者
3	委員	小林 徹	市立学校長	12	委員	北村 亜由美	市立学校 PTA 代表者
4	委員	勝俣 純	市立学校長	13	委員	大胡田 真由	市立学校 PTA 代表者
5	委員	勝又 厚	市立学校校医	14	委員	込山 琢馬	市立学校 PTA 代表者
6	委員	杉山 智一	市立学校校医	15	委員	脇田 永吉	市立学校 PTA 代表者
7	委員	長田 進	市立学校薬剤師	16	委員	久川 祐稔	その他 教育委員会が 必要と認める者
8	副会長	渡邊 幸子	市立学校 PTA 代表者	17	委員	杉山 一雄	その他 教育委員会が 必要と認める者
9	委員	大島 伸代	市立学校 PTA 代表者				

御殿場市社会教育委員 任期2年(令和5年4月1日~令和7年3月31日)

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員	鎌野 幸治	学校教育	8	委員	永田 理絵	学識経験者
2	委員	勝俣 健	学校教育	9	委員	勝又 康次	学識経験者
3	副委員長	山下 清春	社会教育	10	委員	小松 孝和	学識経験者
4	委員	鈴木 陽子	社会教育	11	委員長	勝間田 清次	学識経験者
5	委員	岩田 真帆	社会教育	12	委員	金光 美佐子	学識経験者
6	委員	永井 小代子	社会教育	13	委員	山本 千鶴	学識経験者
7	委員	鈴木 治子	学識経験者	14	委員	林 栄二	学識経験者

文化財審議会委員 任期2年(令和4年4月1日~令和6年3月31日)

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員長	土屋 俊光	玉穂地区	7	委員	内海 信吾	原里地区
2	副委員長	土屋 共榮	富士岡地区	8	委員	杉澤 良夫	原里地区
3	委員	池谷 博文	御殿場地区	9	委員	石田 春夫	印野地区
4	委員	岩澤 良充	御殿場地区	10	委員	高村 典子	高根地区
5	委員	藤方 慶子	御殿場地区	11	委員	土屋 英俊	高根地区
6	委員	渡邊 秀明	富士岡地区				

専門委員

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	専門委員	柳井 康弘	平成24年 4月1日~	3	専門委員	松田 香代子	令和4年 7月1日~
2	専門委員	池谷 岩夫	平成30年 4月1日~				

青少年問題協議会委員 任期2年(令和4年4月1日~令和6年3月31日)

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	会長	勝又 正美	市長	11	委員	高木 義純	民生委員 児童委員協議会
2	委員	本多 丞次	市議会 福祉文教委員会	12	委員	勝亦 英樹	ライオンズクラブ
3	委員	黒崎 一嘉	商工会	13	委員	山下 守	市青少年健全育成会 連絡協議会
4	委員	寺田 壽賀子	市婦人会連絡協議会	14	委員	岩田 幸真	市PTA連合会
5	委員	勝間田 清次	社会教育委員	15	委員	長田 祐一	市子ども会 世話人連合会
6	委員	勝間田 正仁	青少年補導委員長	16	委員	藤曲 敏春	ボーイスカウト
7	委員	横溝 千都生	市校長会	17	委員	長田 トミ子	ガールスカウト
8	委員	西川 勝啓	市内高等学校	18	委員	安達 拓人	国立中央青少年 交流の家
9	委員	芹澤 照平	市区長会	19	委員	中西 浩	御殿場警察署長
10	委員	芹澤 健一郎	北駿地区保護司会	20	委員	馬淵 昭彦	御殿場健康福祉 センター所長

放課後子どもプラン運営委員会委員 任期 2 年(令和5年 4 月 1 日～令和7年 3 月 31 日)

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員	勝又 康次	放課後児童 育成会	9	委員	勝間田 清次	知識と経験 を有する者
2	委員	池田 みどり	放課後児童 育成会	10	委員	滝口 兼光	知識と経験 を有する者
3	委員	岩田 司	保護者の代表	11	委員	鎌野 幸治	学校関係者
4	委員	稲井 聡子	保護者の代表	12	委員	中村 達明	学校関係者
5	委員	渡邊 晴美	知識と経験 を有する者	13	委員	山崎 弘資	教育委員会職員
6	委員	杉山 眞樹江	知識と経験 を有する者	14	委員	上道 勝人	福祉事務所職員
7	委員	佐藤 恵子	知識と経験 を有する者	15	委員	高杉 聡哉	教育委員会職員
8	委員	本崎 肇	知識と経験 を有する者				

青少年センター運営懇話会構成員 任期 2 年(令和5年 4 月 1 日～令和7年 3 月 31 日)

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	座長	勝亦 重夫	教育長	8	構成員	横溝 千都生	市校長会
2	副座長	勝間田 正仁	青少年補導委員	9	構成員	湯山 喬史	市生徒指導部
3	構成員	菅野 太	青少年補導委員	10	構成員	萩倉 康	市生徒指導部
4	構成員	速水 良太	御殿場警察署	11	構成員	齊藤 光高	高等学校
5	構成員	高橋 忠資	北駿薬剤師会	12	構成員	高杉 聡哉	学校教育課
6	構成員	長島 晃一	商業振興 協同組合	13	構成員	渡邊 恵司	子育て支援課
7	構成員	勝亦 敦志	市立図書館 図書納入組合				

図書館協議会委員 任期2年(令和5年4月1日~令和7年3月31日)

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員長	勝又 将雄	学識経験のある者	6	委員	福井 真澄	社会教育に 関係する者
2	副委員長	古賀 啓子	家庭教育の向上に 資する活動を行う者	7	委員	井上 綾野	家庭教育の向上に 資する活動を行う者
3	委員	岳野 めぐみ	学校教育に 関係する者	8	委員	芹澤 えつ子	学識経験のある者
4	委員	藤原 絵美	学校教育に 関係する者	9	委員	佐藤 きよ恵	学識経験のある者
5	委員	山本 千鶴	社会教育に 関係する者	10	委員	瀬戸 武生	学識経験のある者

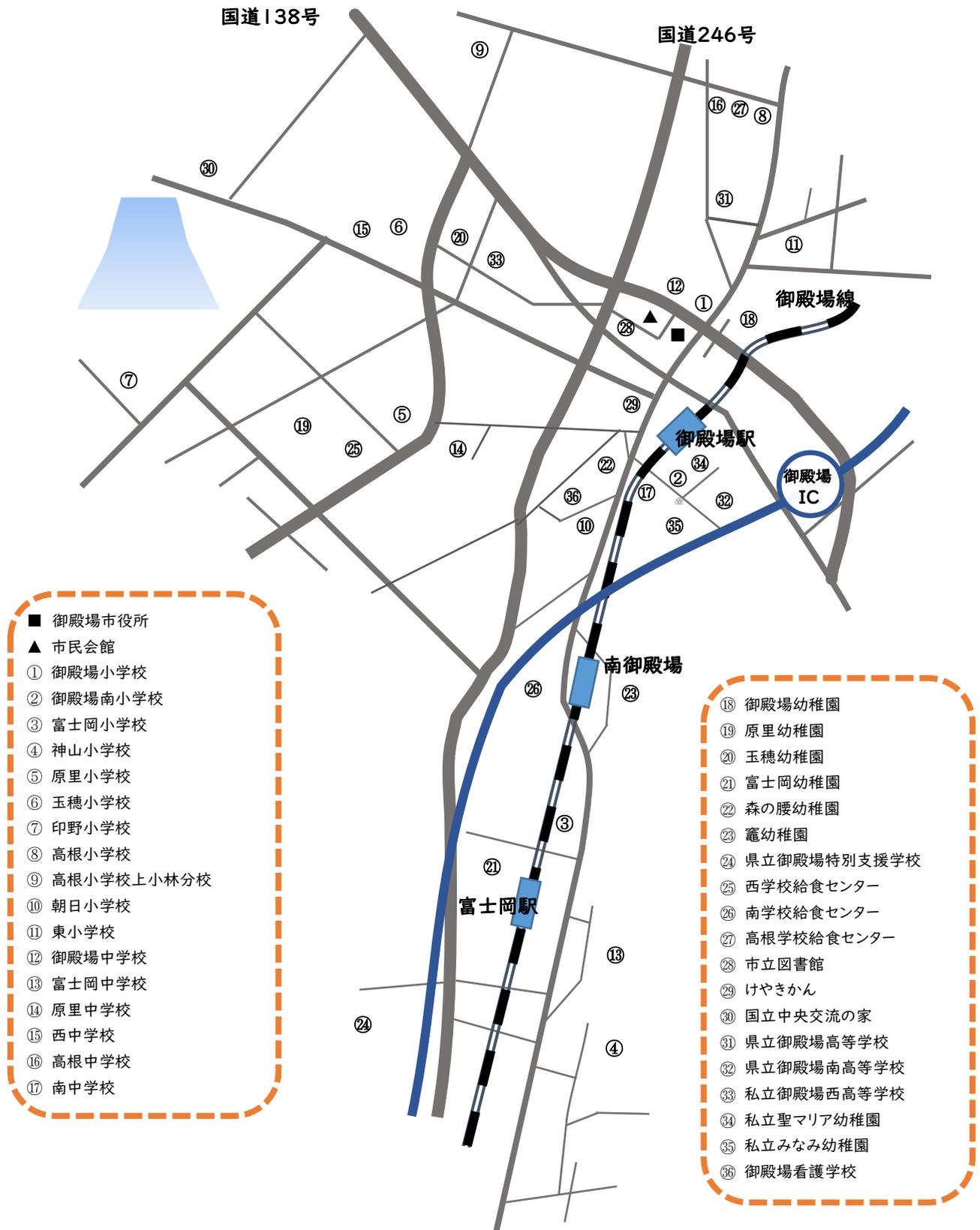
御殿場市子ども読書活動推進会議委員 任期2年(令和5年4月1日~令和7年3月31日)

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員長	加藤 千恵子	市民活動団体に 属する者	8	委員	藤原 絵美	市内小・中学校司書教諭 及び特別支援教育担当教諭
2	副委員長	鈴木 治子	公募による者	9	委員	渡辺 彩貴	市内小・中学校司書教諭 及び特別支援教育担当教諭
3	委員	勝俣 明日香	公募による者	10	委員	池谷 勇亮	市内小・中学校司書教諭 及び特別支援教育担当教諭
4	委員	勝間田 なをみ	市民活動団体に 属する者	11	委員	田中 善明	市内小・中学校司書教諭 及び特別支援教育担当教諭
5	委員	澁谷 一美	市民活動団体に 属する者	12	委員	池田 陽一	市内小・中学校 PTA 代表
6	委員	浜田 宏美	市民活動団体に 属する者	13	委員	岩間 慎太郎	市内幼稚園・保育所 認定こども園保護者会代表
7	委員	芹沢 則子	市民活動団体に 属する者	14	委員	幸野 美智	市内幼稚園・保育所 認定こども園保護者会代表

御殿場市子ども読書活動推進会議専門部会 任期2年(令和5年4月1日~令和7年3月31日)

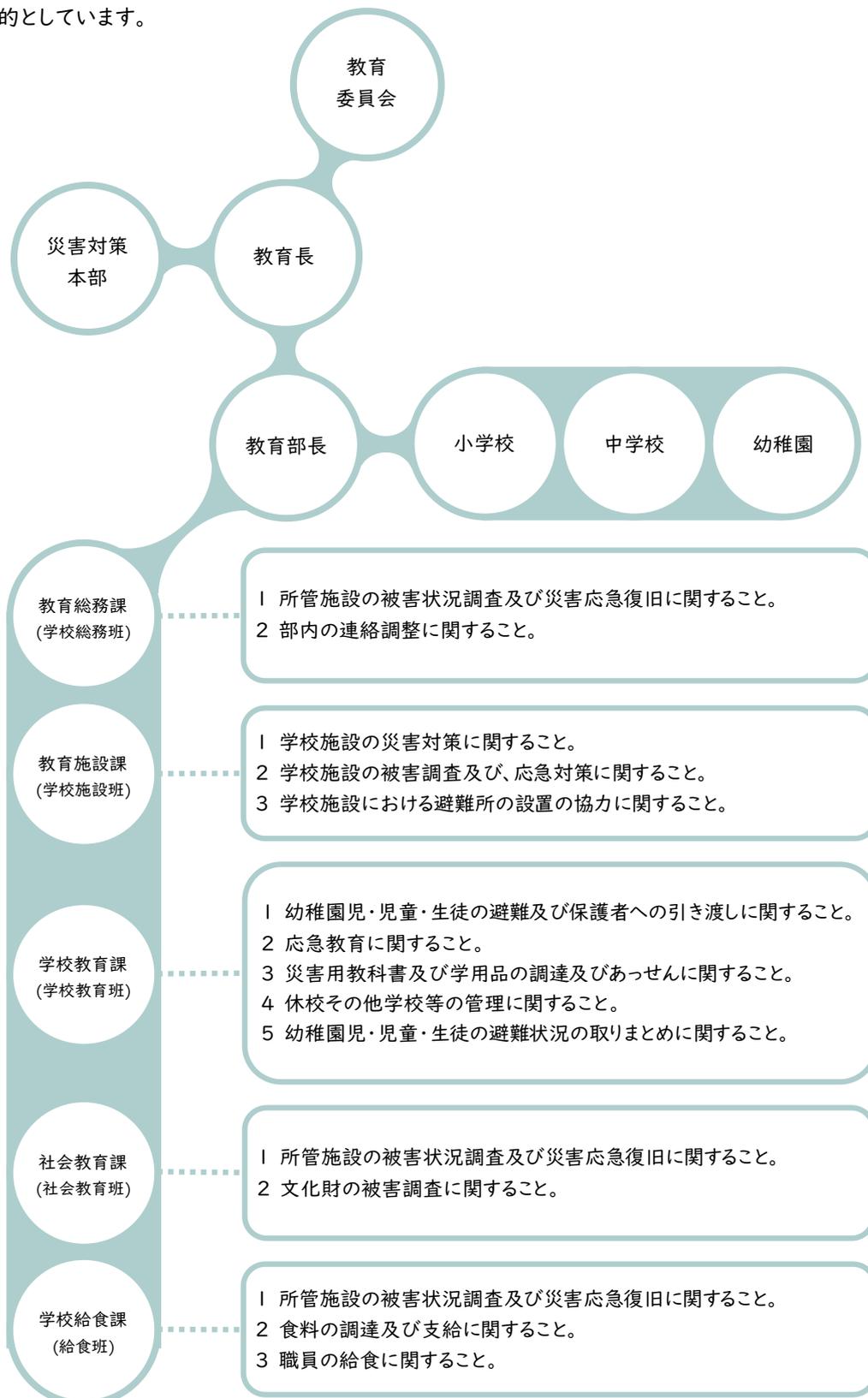
No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員	岩田 恭平	市職員	4	委員	神谷 瞳	市職員
2	委員	加藤 かおり	市職員	5	委員	鈴木 文	市職員
3	委員	長田 和美	市職員	6	委員	大屋 美佐	市職員

3 教育施設位置図



4 防災計画

御殿場市地域防災計画は、災害対策基本法第 42 条の規定に基づき、市における災害対策全般に関し、市の処理すべき事務を中心として防災関係機関を含めた総合的な防災計画です。この計画では、市民の生命財産を災害から保護するとともに、積極的に災害の拡大防止と被害の軽減に努め、防災の万全を期することを目的としています。



御殿場の教育 令和5年度

編集 御殿場市教育委員会
〒412-8601 静岡県御殿場市萩原 483 番地
TEL0550-82-4520 FAX0550-82-4525

表紙作品 水口千令 (紙切り作家)